

< 調査結果 >

2023年卒学生就職活動調査
インターンシップ活動について

WORKS JAPAN

本資料に掲載されている各種データは、特記なき限り、下記の調査に基づいています。

■調査内容 : 「2023年卒学生就職活動調査 インターンシップ活動」
についてのアンケート調査

■調査実施期間 : 2021年9月16日（木）～2021年9月22日（水）の7日間

■調査対象 : キャンパスキャリア会員のうち、2023年卒業予定の3年生及び院1年生

■調査方法 : 2021年9月16日時点のキャンパスキャリア会員にメール配信
Web上のアンケートフォームより入力

■有効回答数 : 540名

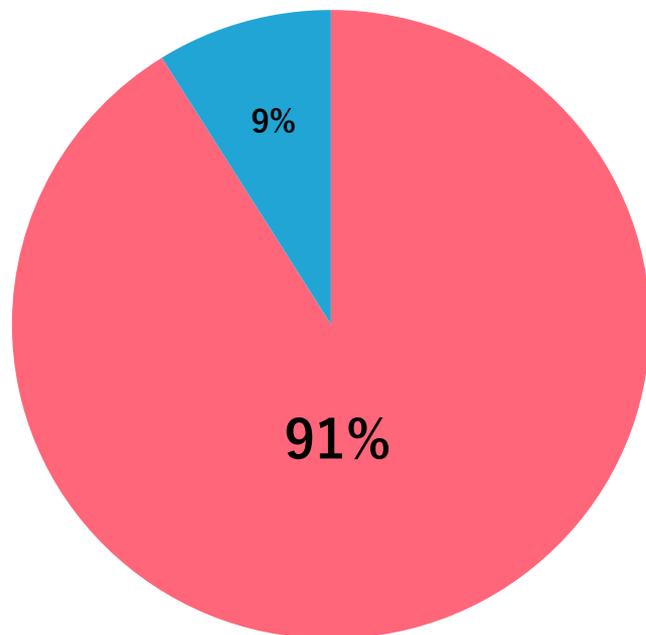
※調査結果は、四捨五入等によりグラフおよび表の和が100%にならない場合もございます。
予めご了承ください。

大学名	回答数	大学名	回答数
東京大学	16	北海道大学	7
一橋大学	5	東北大学	18
早稲田大学	39	名古屋大学	11
慶應義塾大学	28	九州大学	9
上智大学	5	筑波大学	4
国際基督教大学	3	千葉大学	6
お茶の水女子大学	3	静岡大学	2
明治大学	14	岡山大学	4
青山学院大学	8	近畿大学	5
立教大学	21	東京外国語大学	8
中央大学	9	東京理科大学	7
法政大学	11	芝浦工業大学	2
学習院大学	4	東京女子大学	2
京都大学	13	日本女子大学	2
大阪大学	15	津田塾大学	2
神戸大学	7	成城大学	4
関西学院大学	7	成蹊大学	2
関西大学	7	東洋大学	6
立命館大学	15	日本大学	10
東京工業大学	10	南山大学	4
横浜国立大学	2	福岡大学	8

Q1. 2021年6月～9月に開催されたインターンシップに参加しましたか。

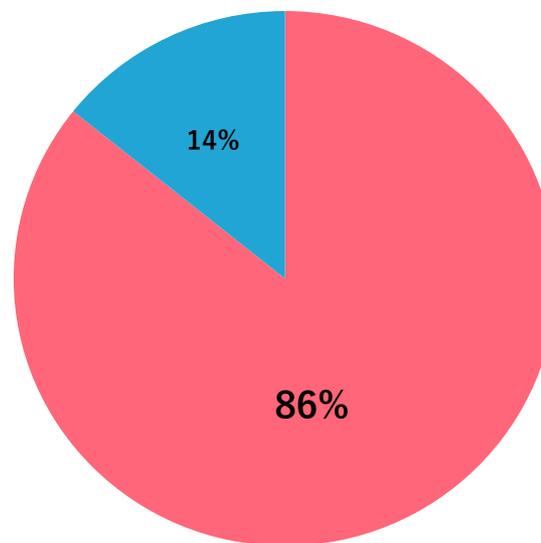
2023卒では「2021年6月～9月に開催されたインターンシップ」へ参加した学生は91%に達し、昨年同時期と比較しても5pt上昇しているため、就活初期から活動意欲が非常に高いことが窺える。

23卒



■ はい ■ いいえ

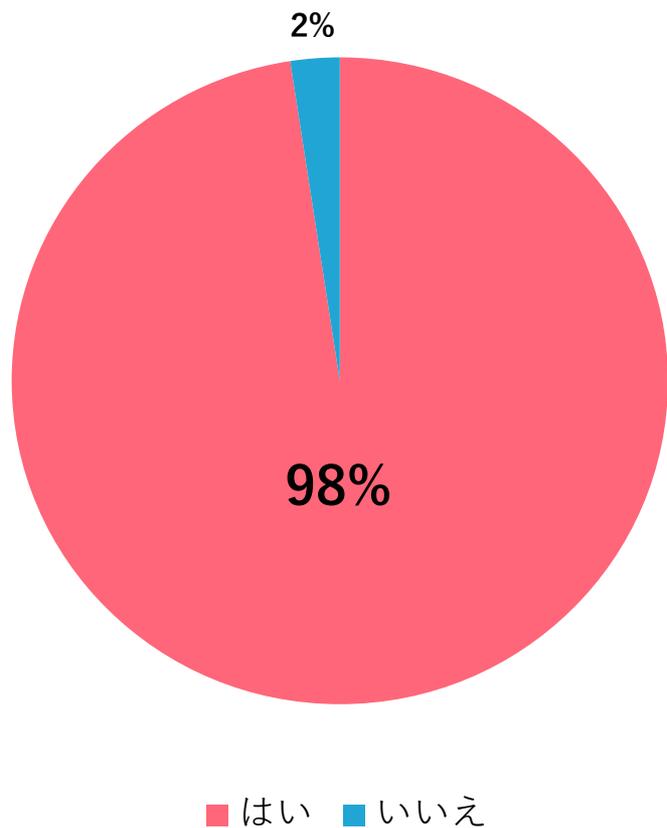
22卒



■ はい ■ いいえ

Q2. 参加したインターンシップの中で有意義だったインターンシップはありましたか。

有意義だったインターンシップは98%の学生があったと回答。
インターンシップに参加することで働くことへの何らかの気づきを得ていることが分かる。



【有意義なインターンシップだった企業名】

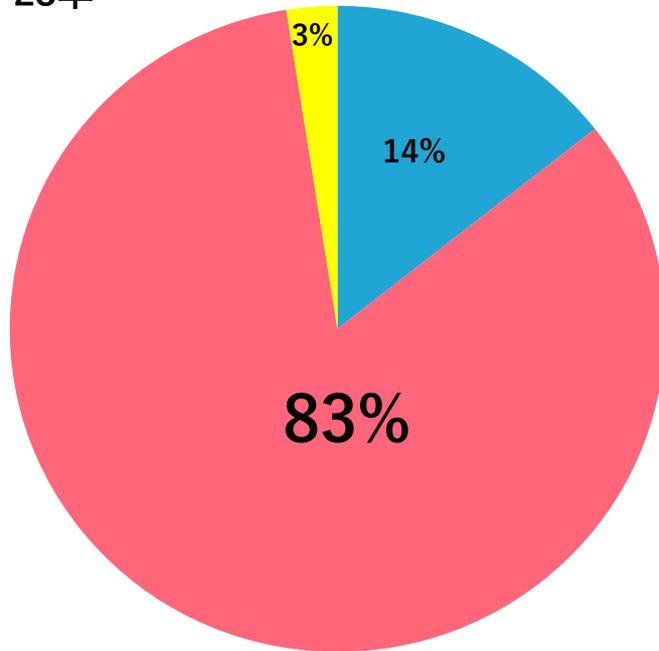
JCB	講談社	日立製作所
NHK	スカパー	廣田証券
NTTコムウェア	住友生命	フロンティア
NTTデータ	ゼンショー	ベネッセ
SKY	ソニー	北海道電力
SMBC日興証券	損害保険ジャパン	マイナビ
SOFTBANK	大正製薬	ミキハウス
アイリスオーヤマ	トモク	みずほ
あおぞら銀行	トヨタ自動車	三井開発
イオン	東海旅客鉄道	三井住友海上あいおい生命
出光興産	東京エレクトロン	三井住友銀行
インテック	東京海上日動火災保険	三井住友信託銀行
インテージ	凸版印刷	三井ホーム
栄光	西日本鉄道	三菱UFJ銀行
オービック	日本生命	明治安田生命
オリックス	日本航空	ヤマト運輸
関西電力	日本政策金融公庫	読売新聞
キヤノン	ニトリ	ライオン
京セラ	野村證券	楽天
クイック	バンダイ	ローソン

※学生(n=540) に有意義だったインターンシップの企業名を回答してもらい、2人以上に評価された企業名

Q3. 「有意義だったインターンシップ」の実施方法を教えてください。

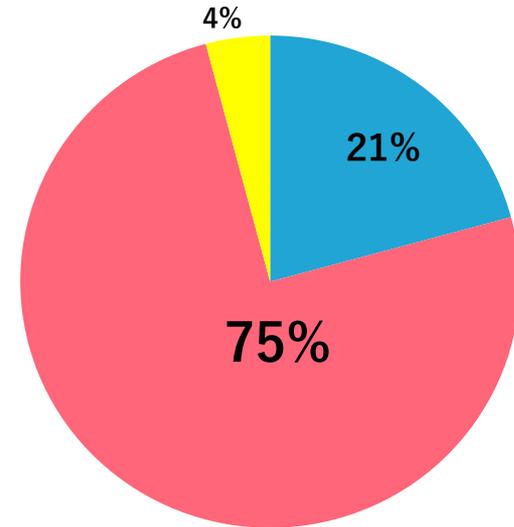
「オンライン」と83%が回答としていることから、オンライン開催への満足度は非常に高いといえ、昨年同時期と比較して8pt上昇していた。一方で「対面」は14%で昨年より7pt低く、学生たちが開催形式を問わなくなってきていることが窺える。

23卒



- 対面 (企業本社など現場で実施のもの)
- オンライン (インターネットでの参加)
- 対面+オンライン

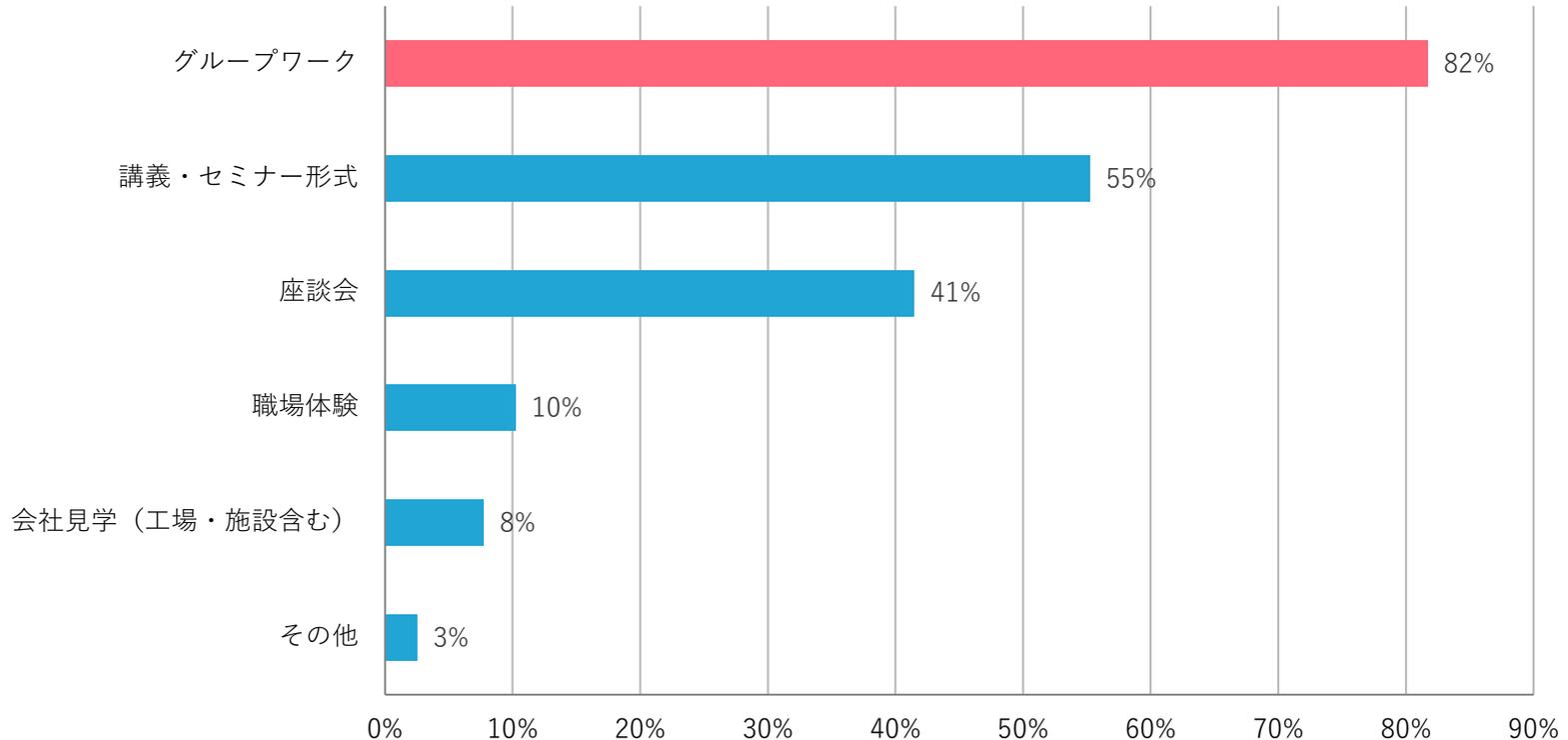
22卒



- 対面 (企業本社など現場で実施のもの)
- オンライン (インターネットでの参加)
- 対面+オンライン

Q4. 「有意義だったインターンシップ」の形式を教えてください。 ※複数回答可

「グループワーク」が82%と最多。続いて「講義・セミナー形式」55%、「座談会」41%となり、一方で「職場見学」や「職場体験」は双方10%以下に留まる結果となり、従来の体験型インターンシップがあまり支持されなくなっている傾向がある。

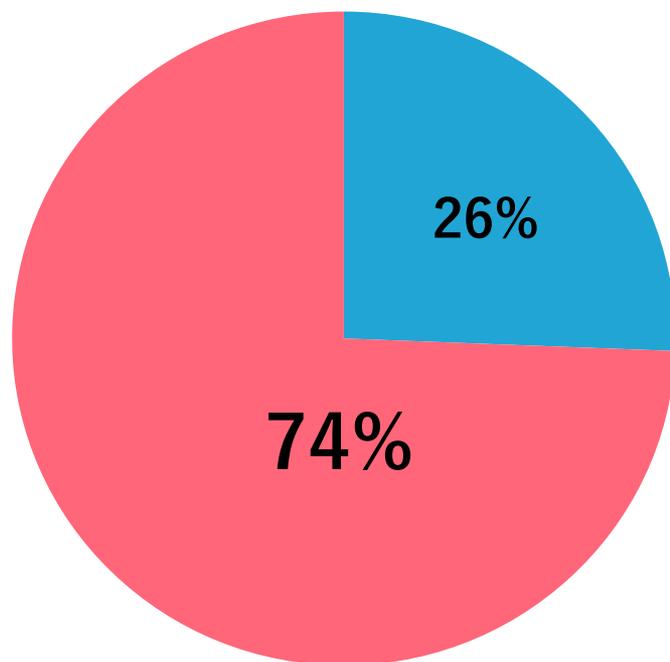


Q5. 参加したインターンシップの中で有意義でなかったインターンシップはありましたか。

「いいえ」の回答が74%を占め、「はい」は26%という結果となった。多くの学生は夏のインターンシップに関して満足度が高いことが分かった。

【学生のコメント抜粋】

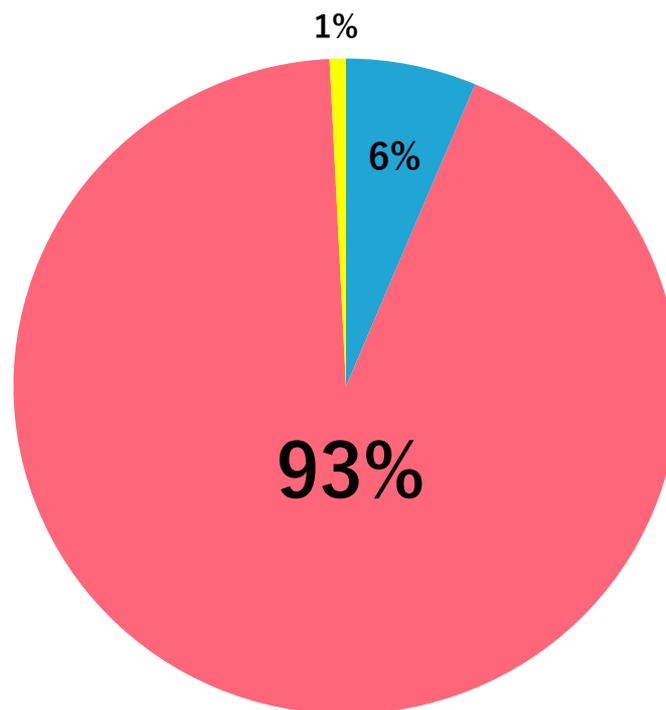
- ・一方的に話を聞かされたただけだから。
- ・説明される業務内容が魅力的に感じられなかったから
また班員のレベルが低かったから。
- ・SDGsのことについて講義やグループワークがあったが、
その企業のことがよくわからなかったから。
- ・ありふれた内容で発展性がなかったから。
- ・オンラインでの開催だからか、社員の方のゆとりがなく忙しかったから。
- ・グループワークだけで、企業のことがわからなかったから。
- ・与えられたお題が抽象的でグループワークがうまく進まなかったから。
- ・職種理解は出来たが、その企業らしさの理解は深められず
企業研究が進まなかったから。
- ・企業説明が少なく座談会メインで、学生同士の雑談で終わってしまったから。
- ・半日かけて考えたアイデアについてフィードバックがもらえなかったから。
- ・1時間という短い時間で内容が詰め込まれすぎていて、
よくわからなかったから。
- ・参加者の自己紹介が主で企業内容が伝わらず、
企業に合う人材を探すイベントという印象を受けたから。



■ はい ■ いいえ

Q6. 「有意義でなかったインターンシップ」の実施方法を教えてください。

「オンライン」が93%と高い割合となった。一方で「対面インターンシップ」も6%は満足度が低い内容のものだった模様。



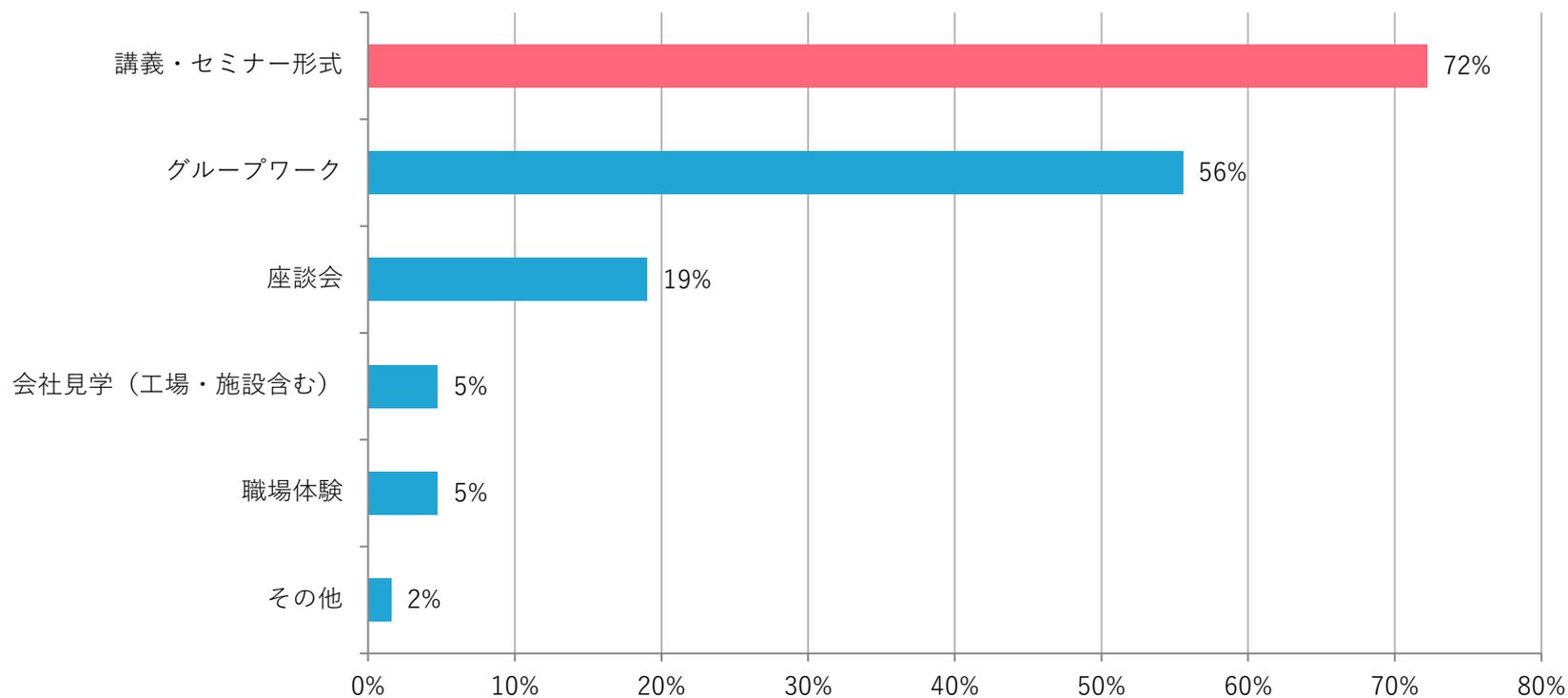
■ 対面（企業本社など現場で実施のもの）

■ オンライン（インターネットでの参加）

■ 対面+オンライン

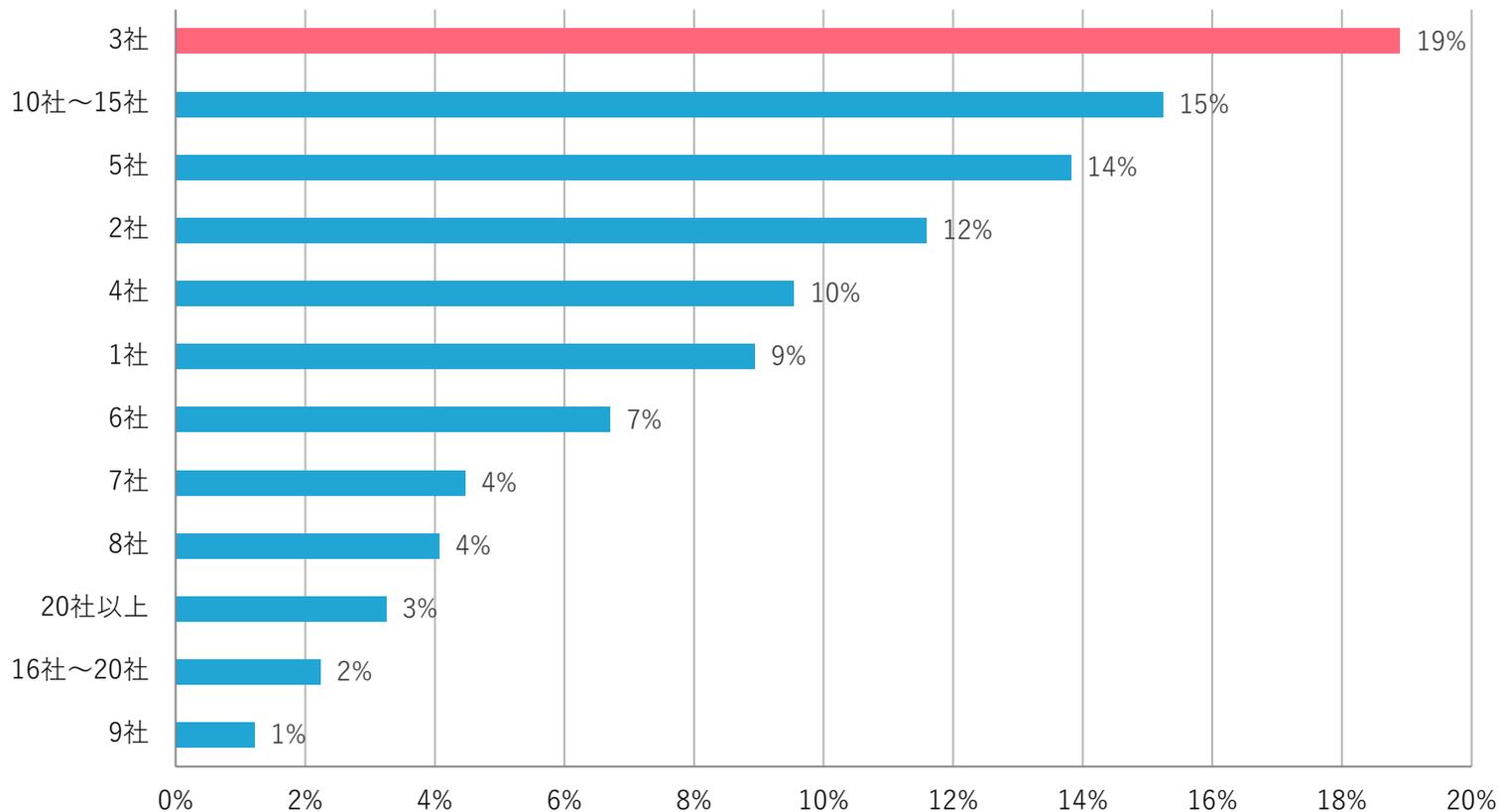
Q7. 「有意義でなかったインターンシップ」の形式を教えてください。 ※複数選択可

「講義・セミナー形式」が72%と最多。続いて「グループワーク」56%、「座談会」19%という結果となった。



Q8. 2021年6月～9月で参加したインターンシップの数を教えてください。

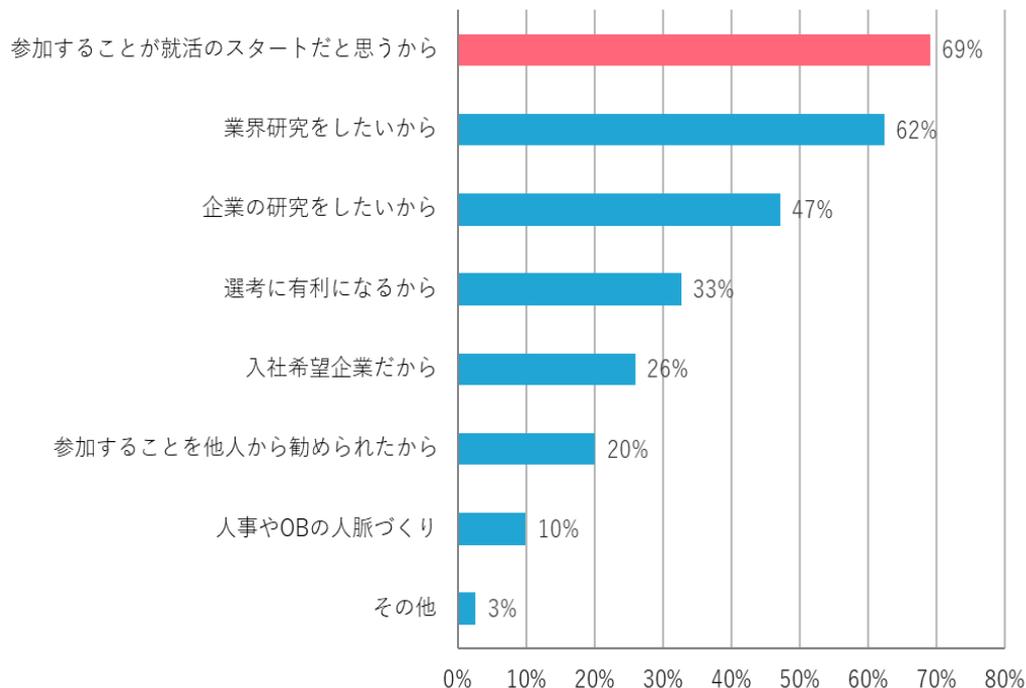
参加社数は、「3社」の割合が最多の19%。続いて「10～15社」が15%、「5社」14%、「2社」12%となっており、複数社のインターンシップに参加する学生が多いことが分かった。



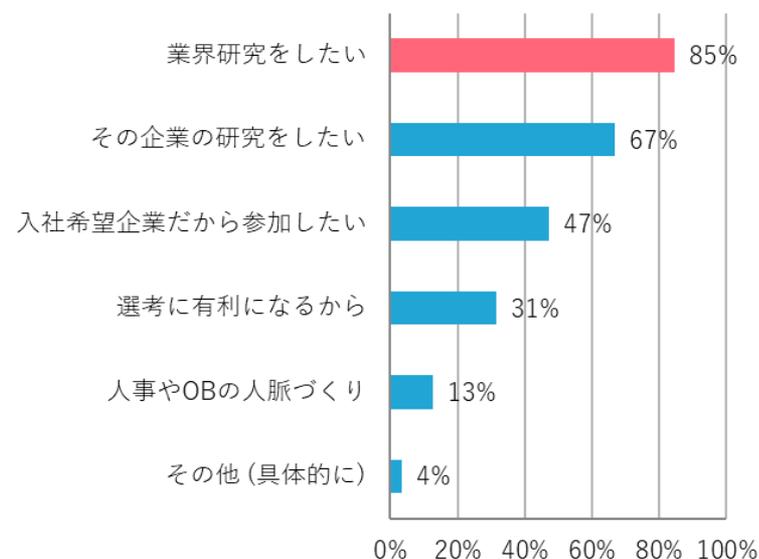
Q9. 2021年6月～9月のインターンシップに参加した目的は何ですか。 ※複数選択可

新設した「参加することが就活のスタートだと思うから」が69%となり、昨年上位2位だった「業界研究をしたいから」62%（昨年比23pt減）、「企業の研究をしたいから」47%（昨年比20pt減）は順位を落とす結果となった。

23卒



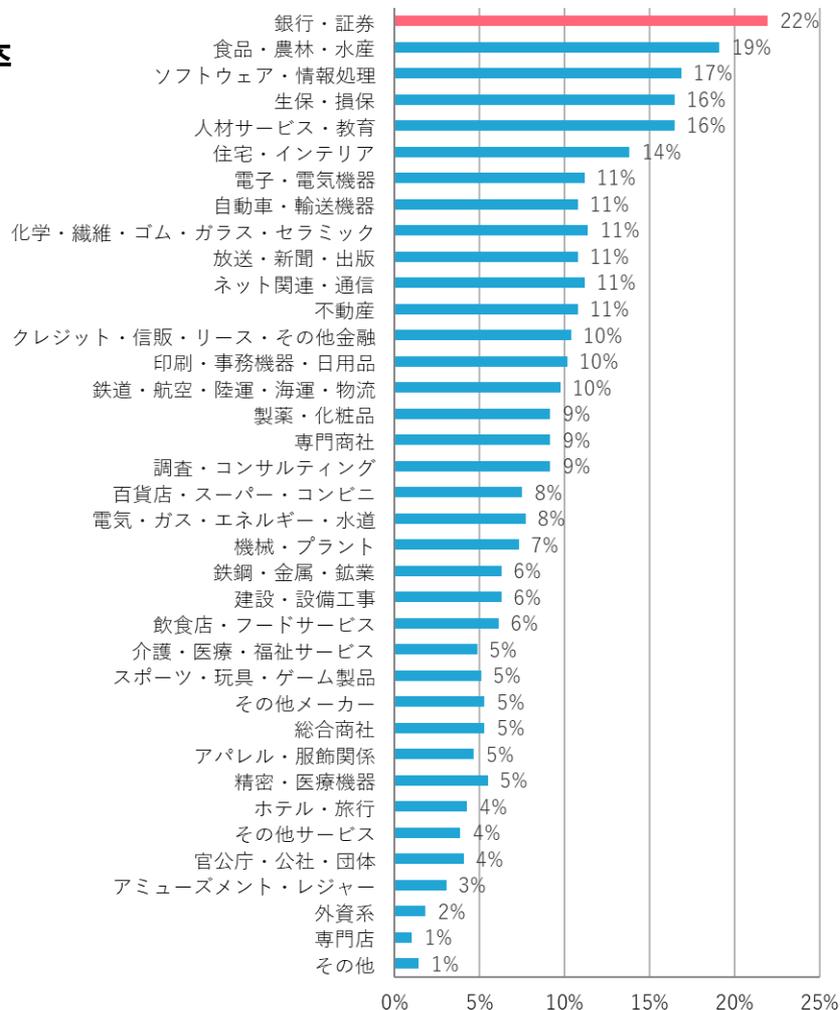
22卒



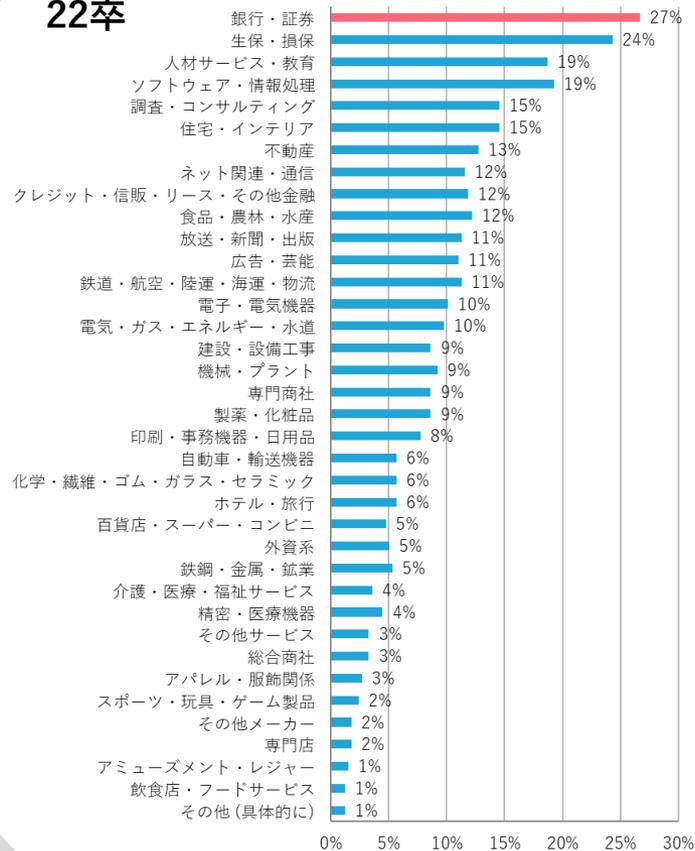
Q10. 2021年6月～9月の間で参加した企業のインターンシップの業種を教えてください。 ※複数選択可

昨年と同様に「銀行・証券」が最も多く回答が集まった。一方で昨年上位の「生保・損保」や「ソフトウェア・情報処理」を抑えて、今年は「食品・農林・水産」が2位と躍進する結果となった。

23卒

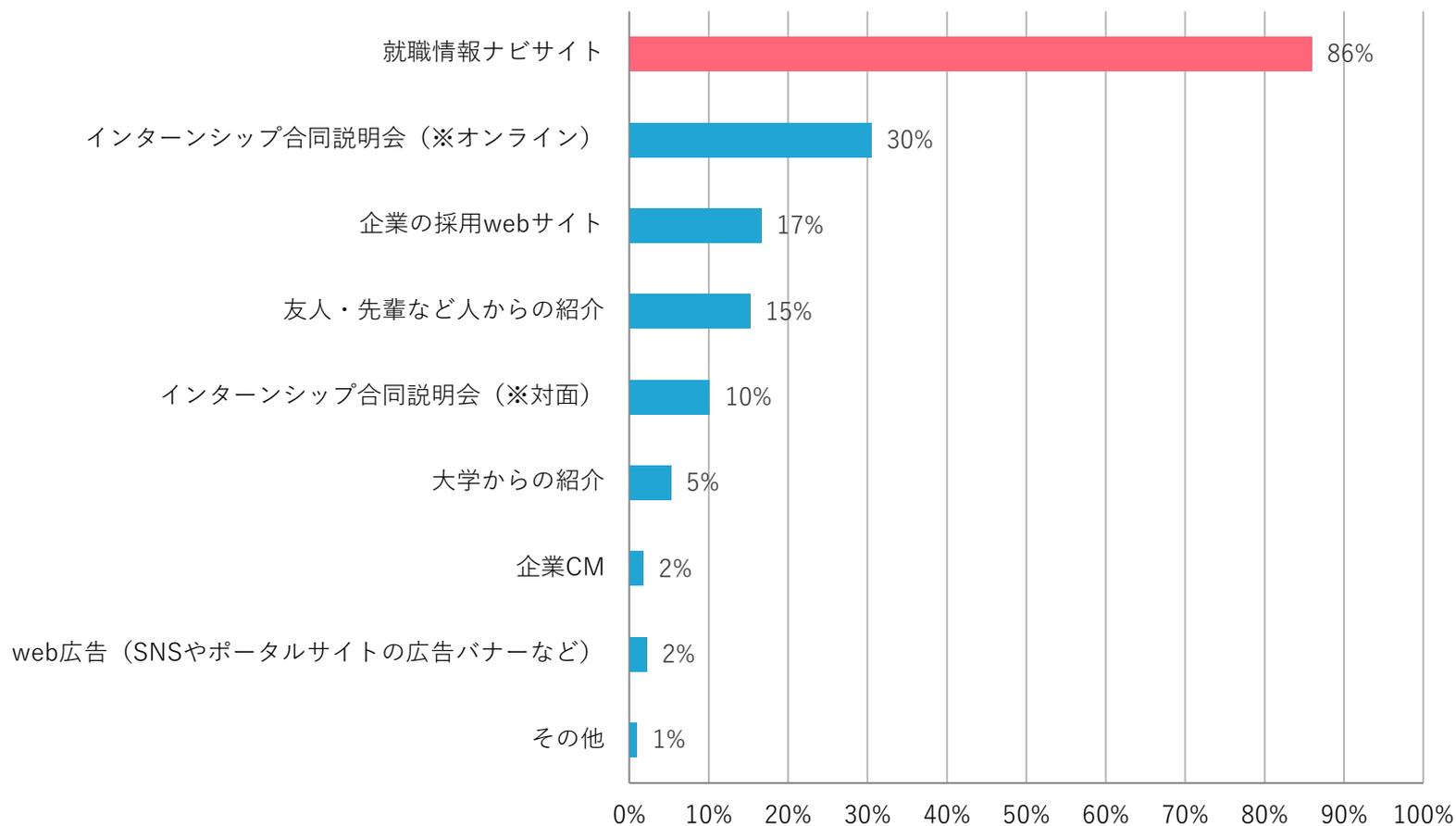


22卒



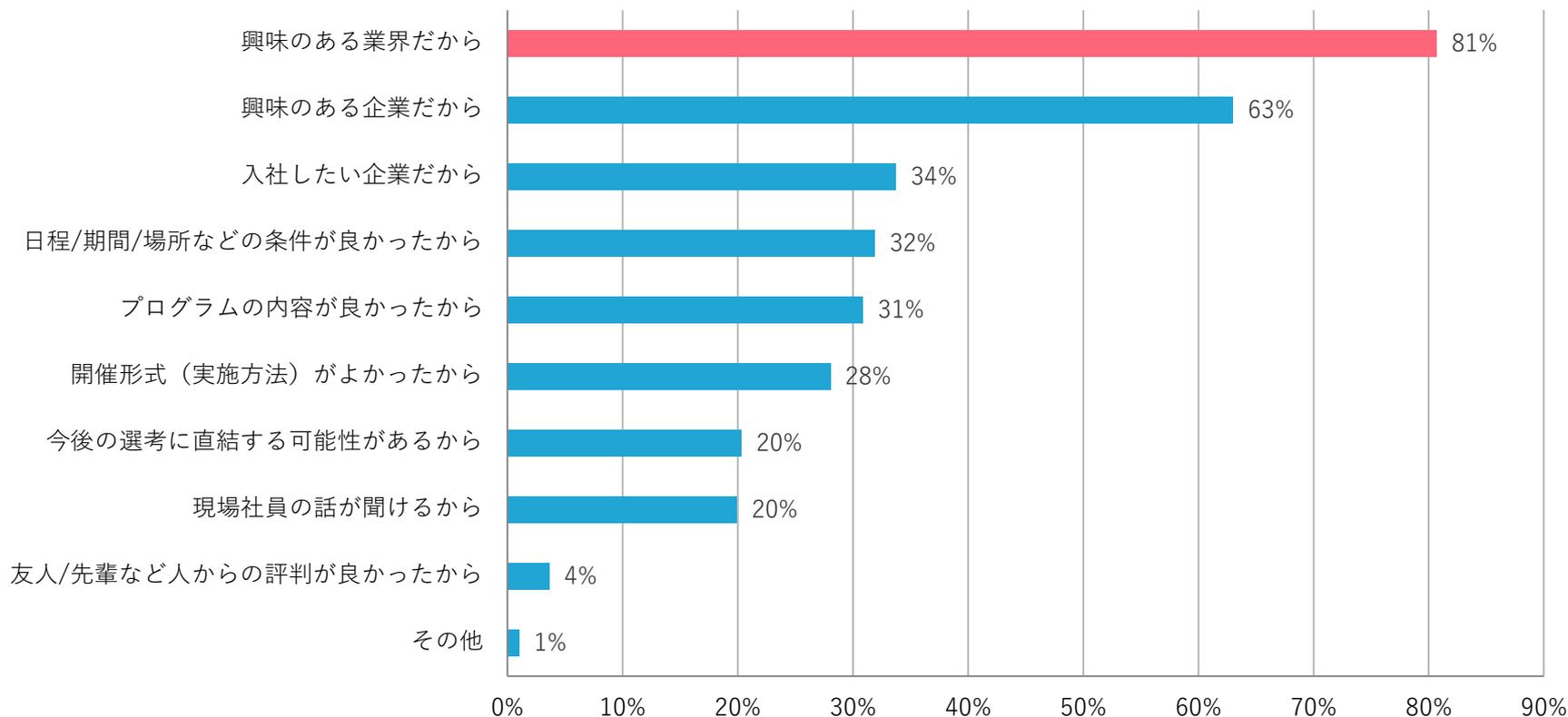
Q11. 2021年6月～9月に参加したインターンシップを
どのような方法で見つけましたか。 ※複数選択可

「就職情報ナビサイト」が86%となり、他の方法を圧倒している。



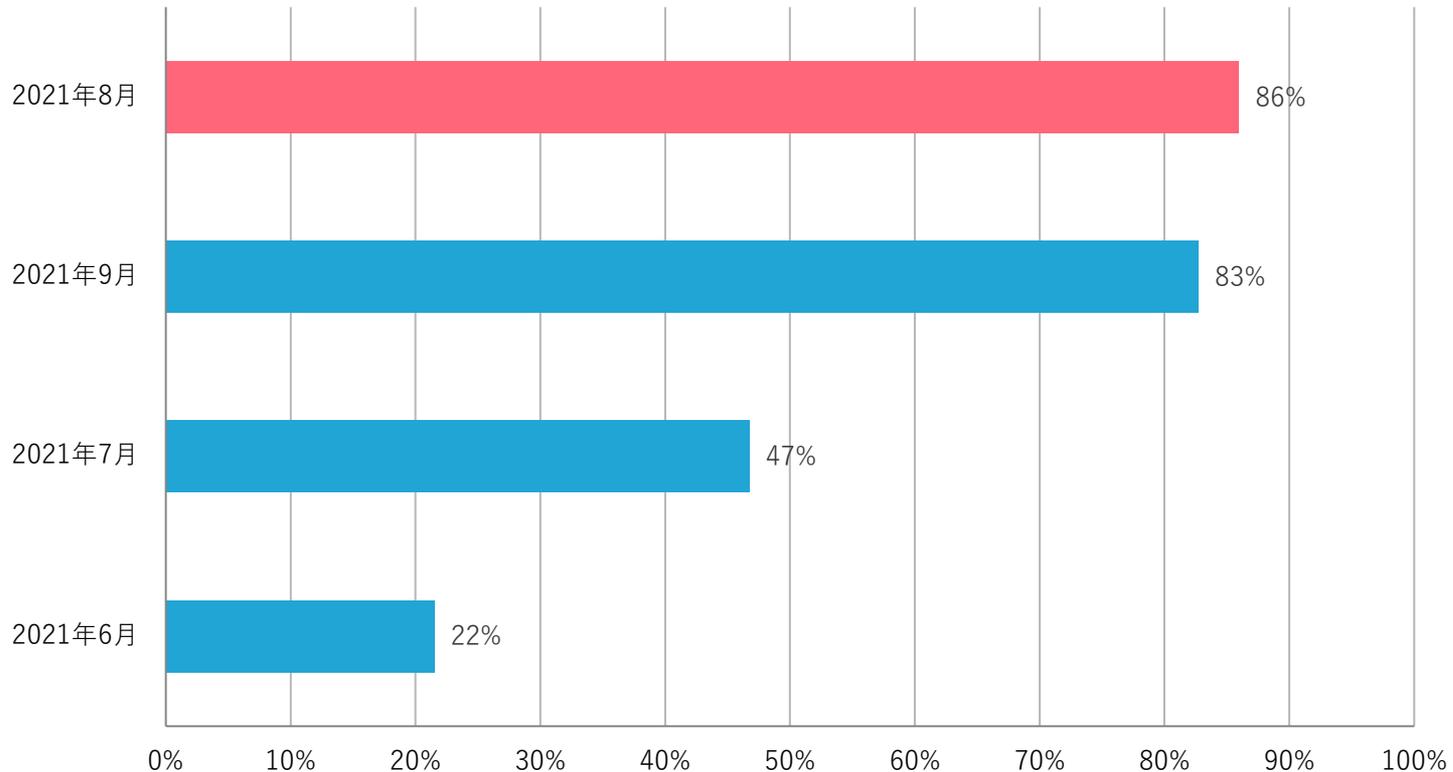
Q12. 2021年6月～9月に参加したインターンシップについて
選んだ基準を教えてください。 ※複数選択可

「興味のある業界だから」が81%でトップに。続いて「興味のある企業だから」63%、「入社したい企業だから」34%が上位を占める結果となった。



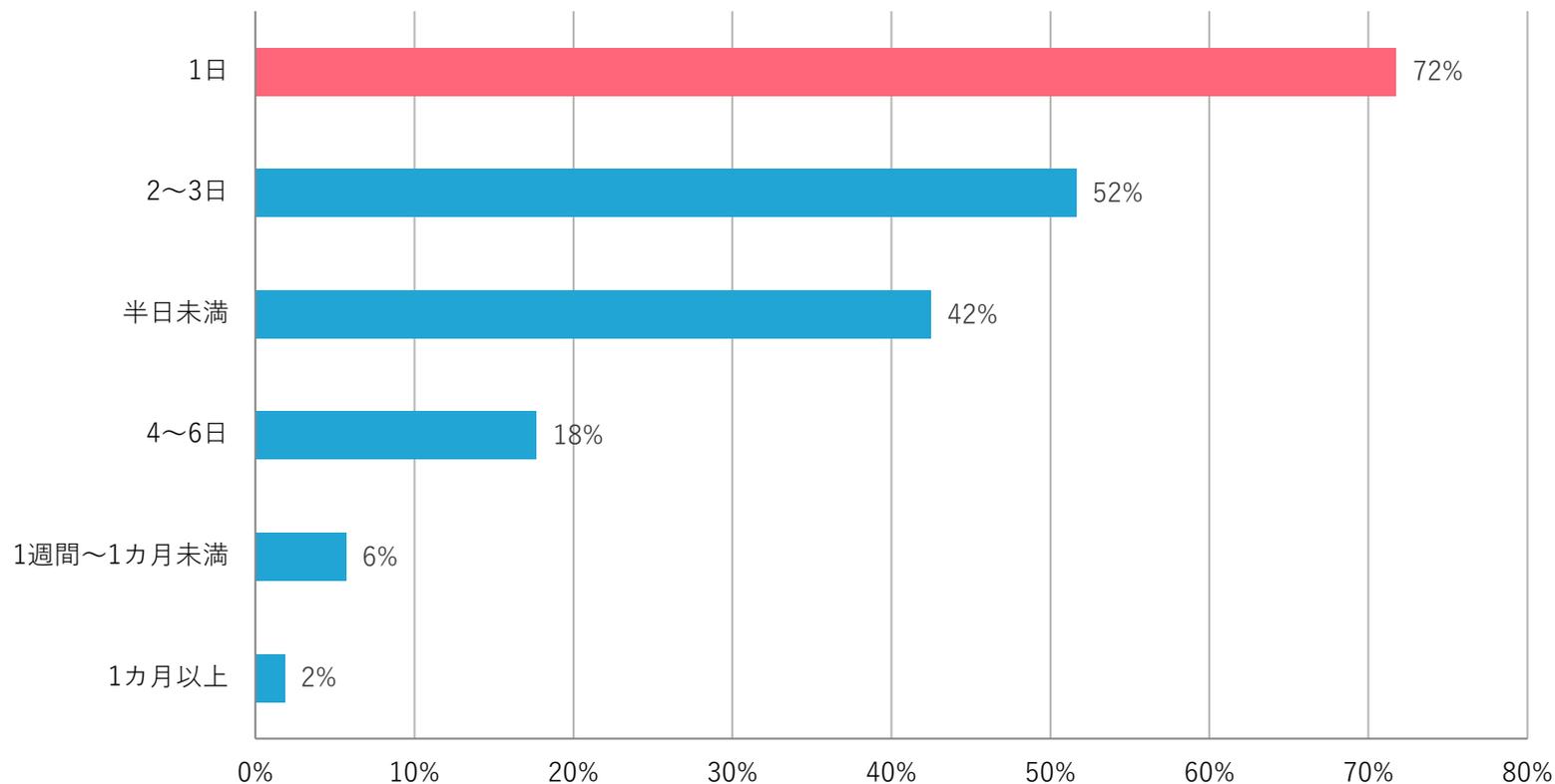
Q13. 2021年6月～9月の間で、何月開催のインターンシップに参加しましたか。 ※複数選択可

「8月」86% 「9月」83%とこの2か月が拮抗。「7月」47%、「6月」22%とこの時期の割合は比較的に少ない。



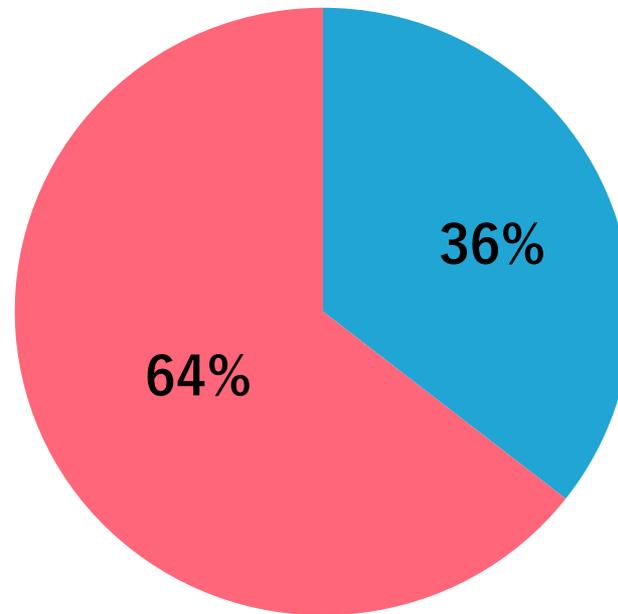
Q14. 2021年6月～9月の間で、参加したインターンシップの開催日数を教えてください。※複数選択可

「1日」が72%と最も多く、「半日未満」も42%が回答する結果となり、気軽に参加できるものが人気の結果となった。一方で「1週間～1か月未満」6%、「1か月以上」2%と、長期型と呼ばれる形式は1割を下回る結果となった。



Q15. 2021年6月～9月の間で、対面（企業本社など現場で実施のもの）のインターンシップに参加しましたか。

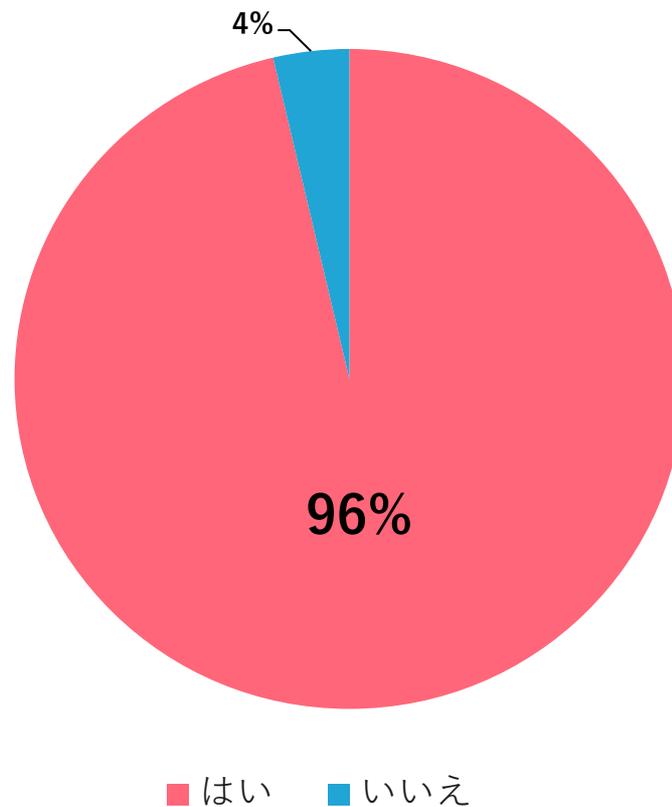
対面インターンシップに参加した学生の割合は36%であった。
過半数の学生は対面型のインターンシップに参加していなかったということが分かった。



■ はい ■ いいえ

Q16. 2021年6月～9月の間で、オンライン（インターネットでの参加）のインターンシップに参加しましたか。

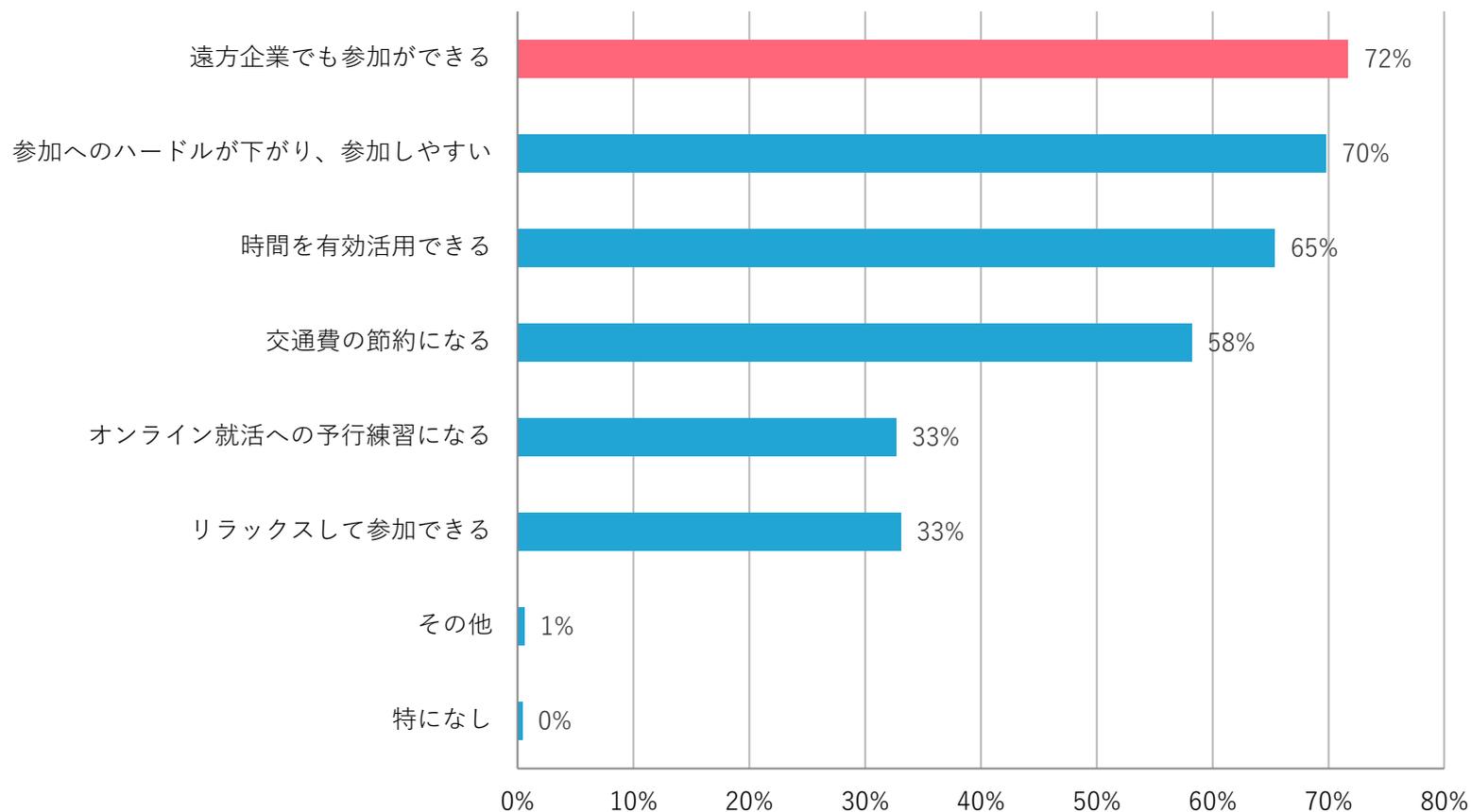
オンラインインターンシップに参加した学生の割合は96%であった。インターンシップに参加した学生のほぼすべての人物がオンラインインターンシップを経験していることが分かった。



Q17. オンラインインターンシップの良かったところを教えてください。

※複数選択可

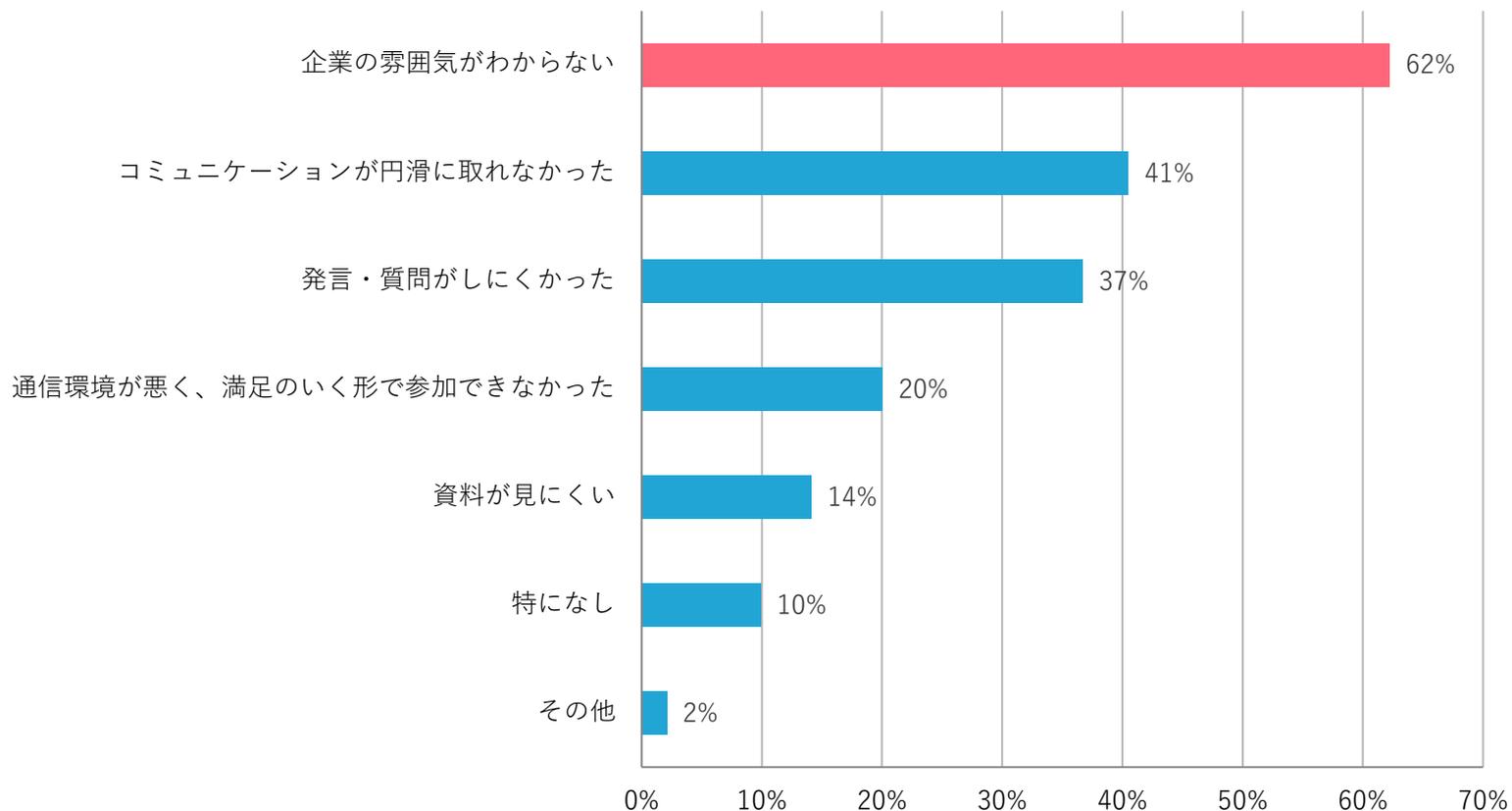
「遠方企業でも参加できる」72%、「参加へのハードルが下がり、参加しやすい」70%という結果となっており、手軽さを支持する声が多く集まった。



Q18. オンラインインターンシップの悪かったところを教えてください。

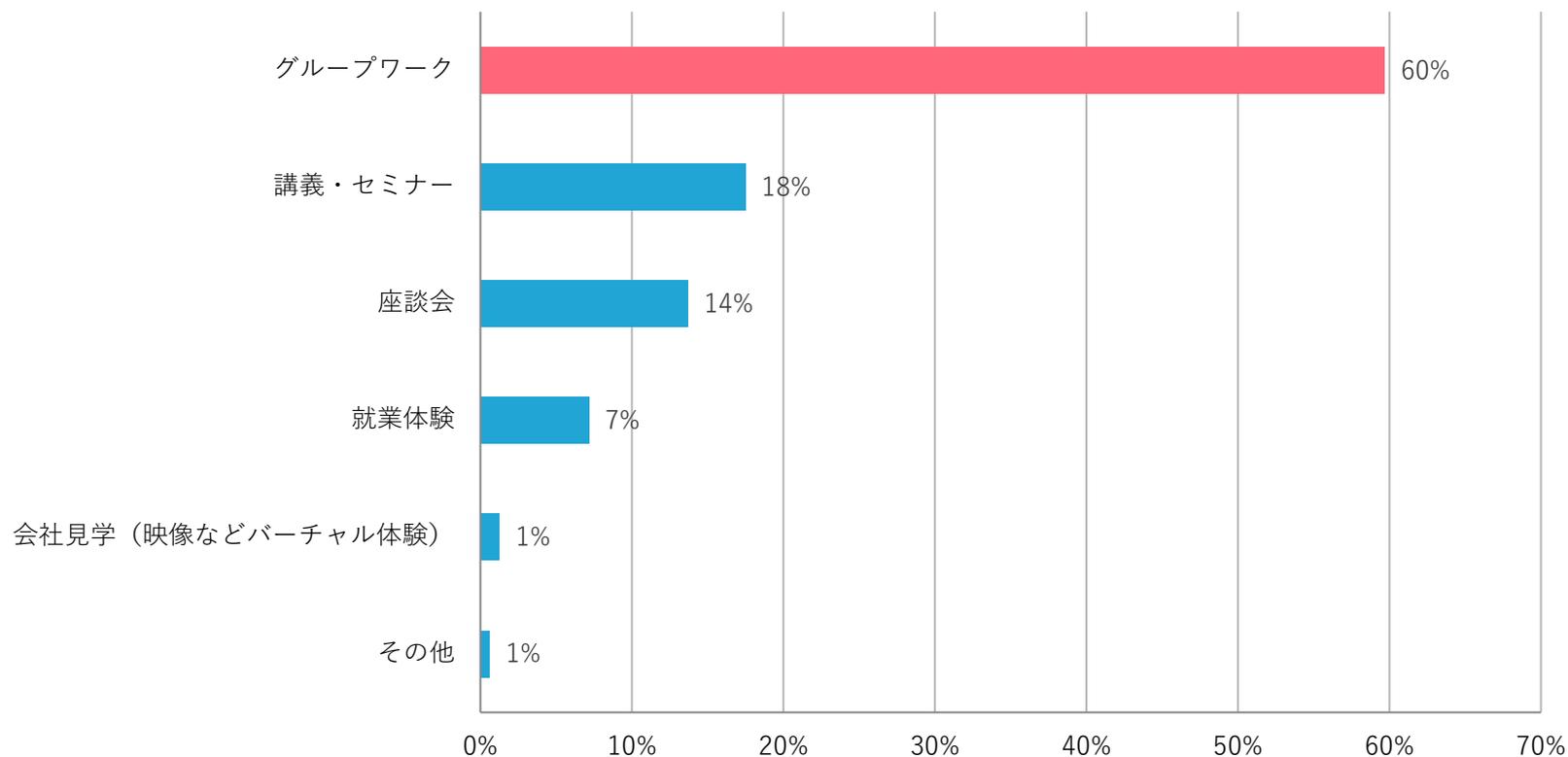
※複数選択可

企業の雰囲気がわからない」62%と他の項目を圧倒。また「コミュニケーションが円滑に取れなかった」41%、「発言・質問がしにくかった」37%の回答も比較的不満の声として多い結果であった。



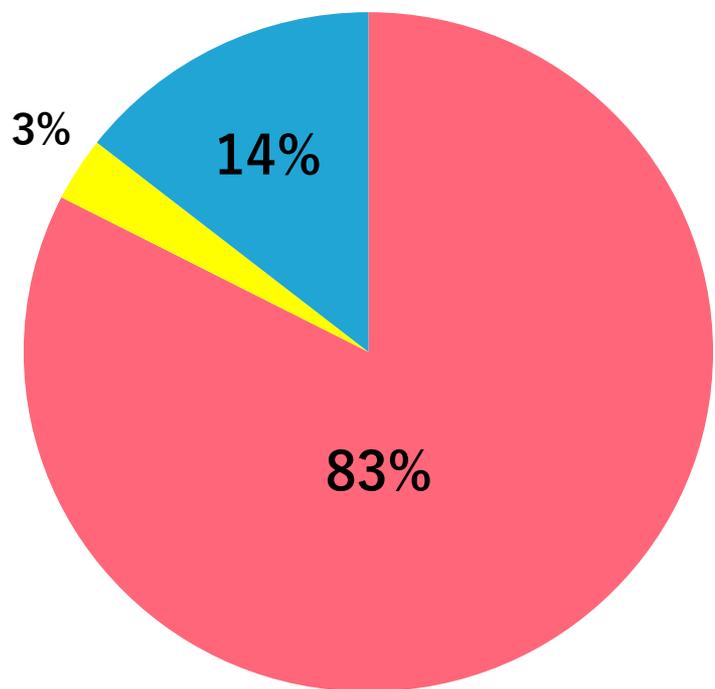
Q19. 参加したオンラインインターンシップの中で、一番良かったものの内容を教えてください。

「グループワーク」が最多の60%を占め、続いて「講義・セミナー」18%、「座談会」14%と続き、「就業体験」はわずか7%という結果になった。



Q20. 2021年6月～9月の間に開催されたインターンシップに参加して、その企業への就職志望度は高まりましたか。

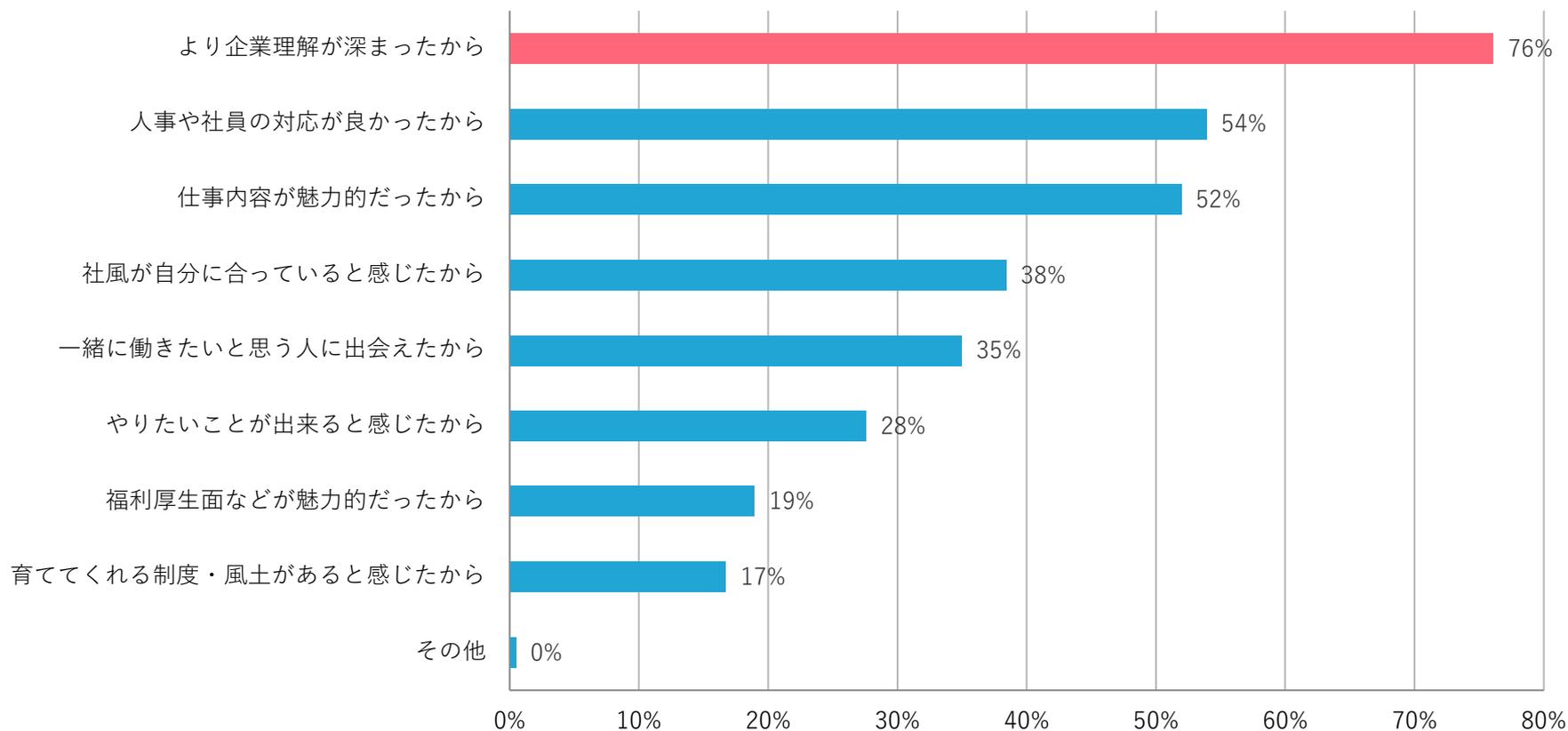
「はい」が83%、「どちらともいえない」が14%、「いいえ」が3%という結果になり、概ね学生たちの志望度は高まっていると分かった。



■ はい ■ いいえ ■ どちらともいえない

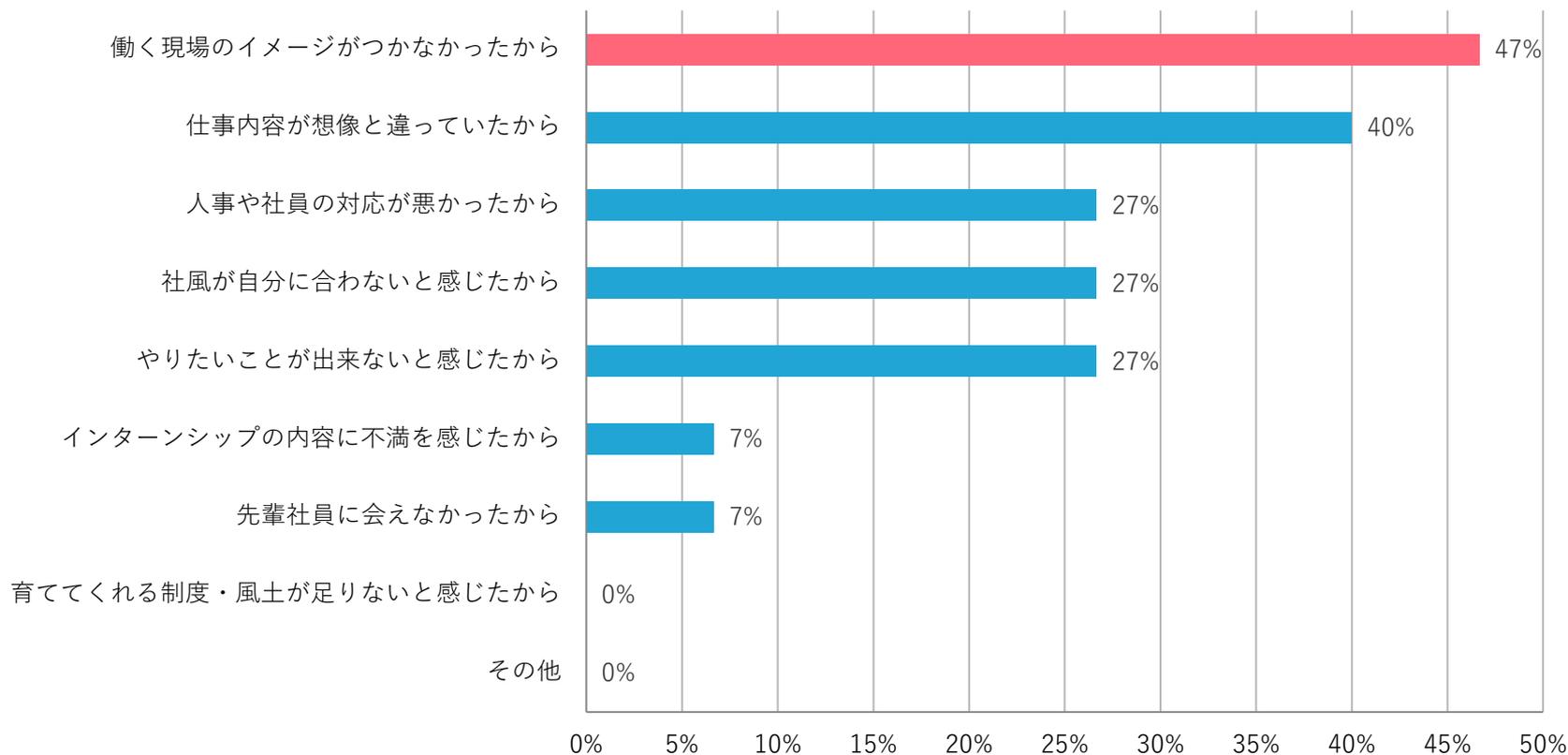
Q21. なぜ就職志望度が高まったのか教えてください。 ※複数選択可

「より企業理解が深まったから」が76%という結果に。一方で「人事や社員の対応が良かったから」54%や「社風が自分に合っていると感じたから」38%と、職場の雰囲気や企業風土が志望度を高めたという学生の回答も多く見られた。



Q22. なぜ就職志望度が高まらなかったのか教えてください。 ※複数選択可

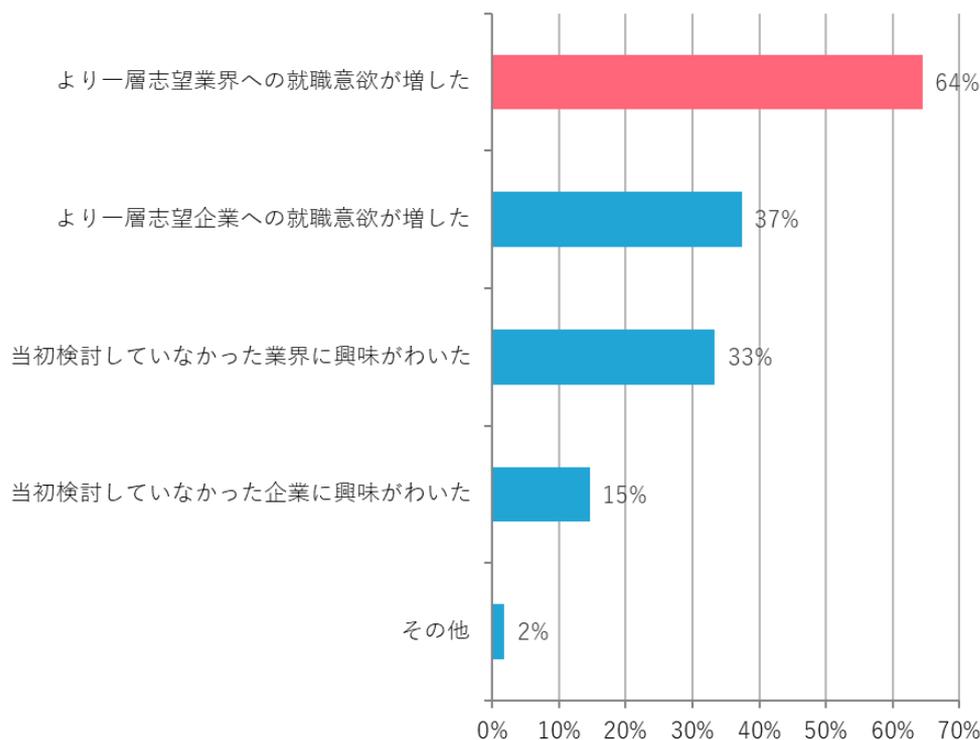
「働く現場のイメージがつかなかったから」が47%となり、オンラインでの業務理解の難しさが結果に反映されることとなった。また「人事や社員の対応が悪かったから」27%、「社風が自分に合わないと感じたから」27%という、自身が体験したことに対する不満も志望度を押し下げる理由としてあがってきた。



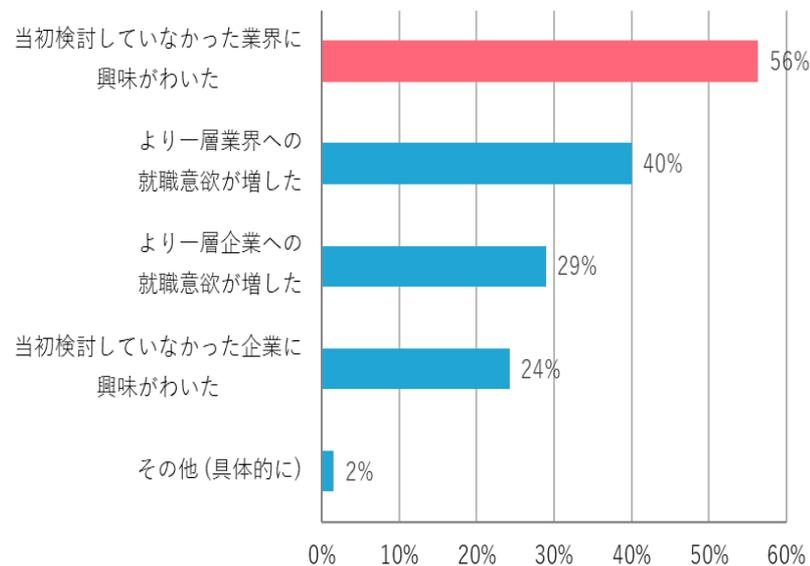
Q23. 2021年6月～9月のインターンシップに参加してみて、志望業界や志望企業にどのような変化がありましたか。 ※複数選択可

「より一層志望業界への就職意欲が増した」が最も多く64%で（昨年比24pt増）、昨年最多回答であった「当初検討していなかった業界への就職意欲が増した」は3位の33%に下落した（昨年比23pt減）。

23卒



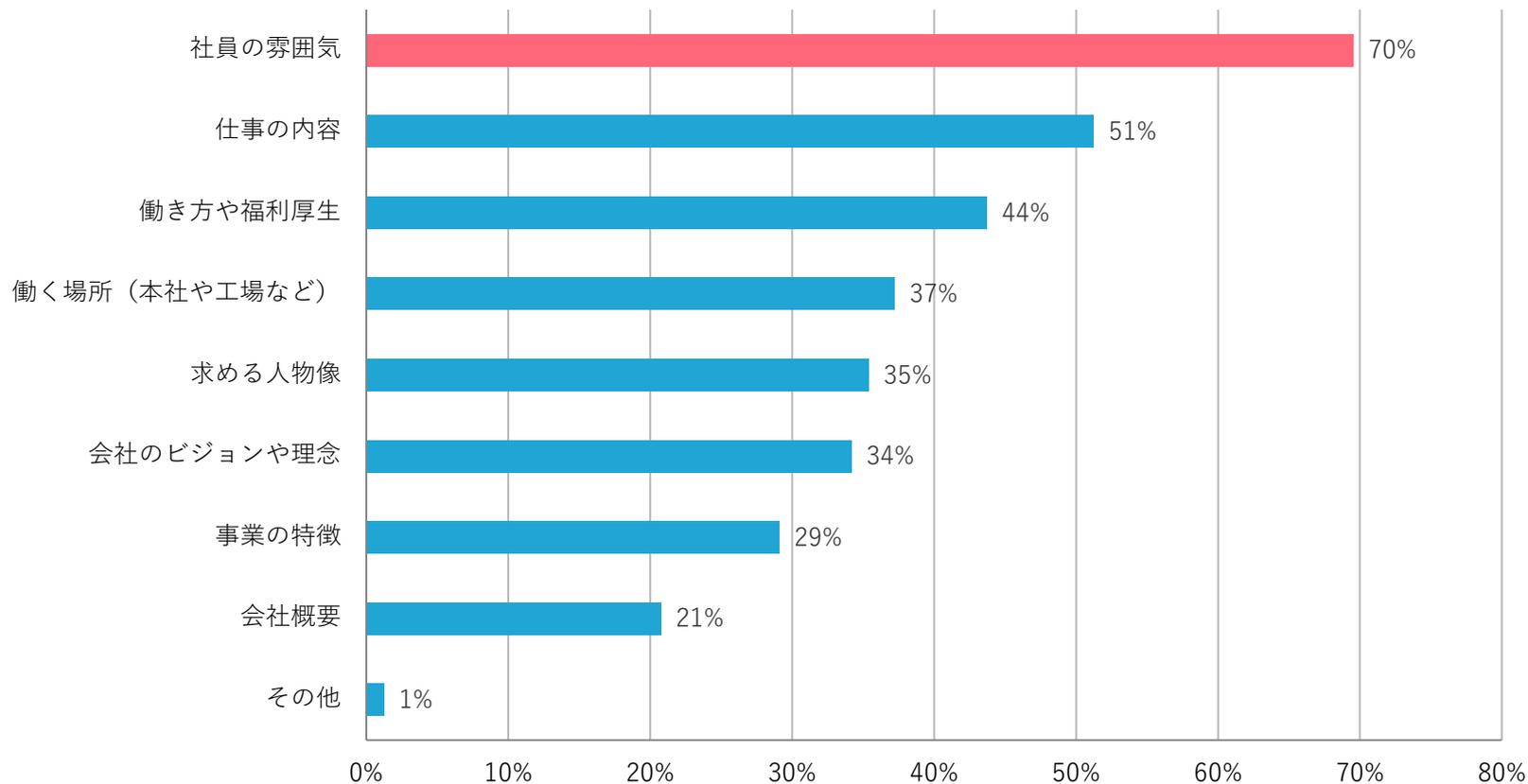
22卒



Q24. 2021年6月～9月のインターンシップに参加してみて、
今後知りたいことは何ですか。 ※複数選択可

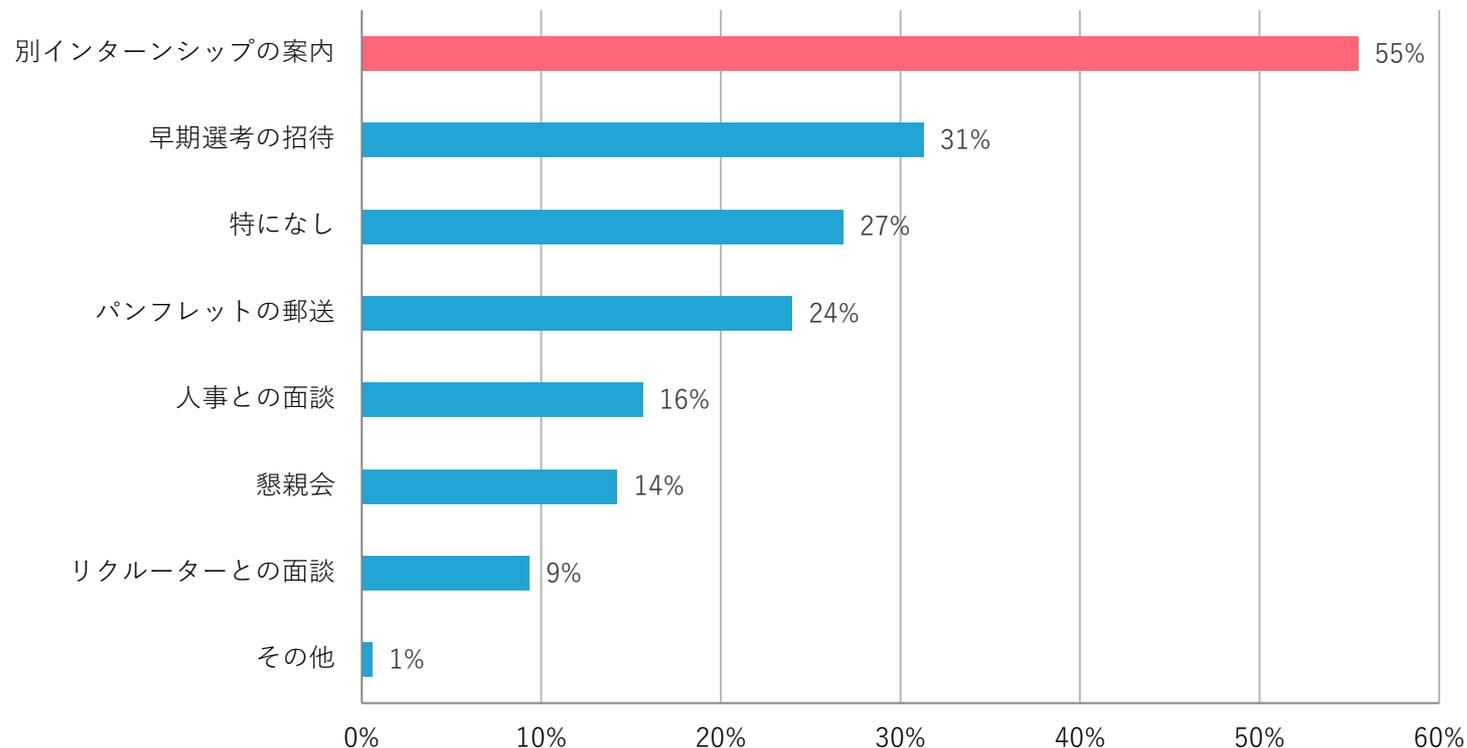
「社員の雰囲気」が70%と最も多く、「仕事の内容」51%や「働き方や福利厚生」44%を抑える結果となった。

23卒



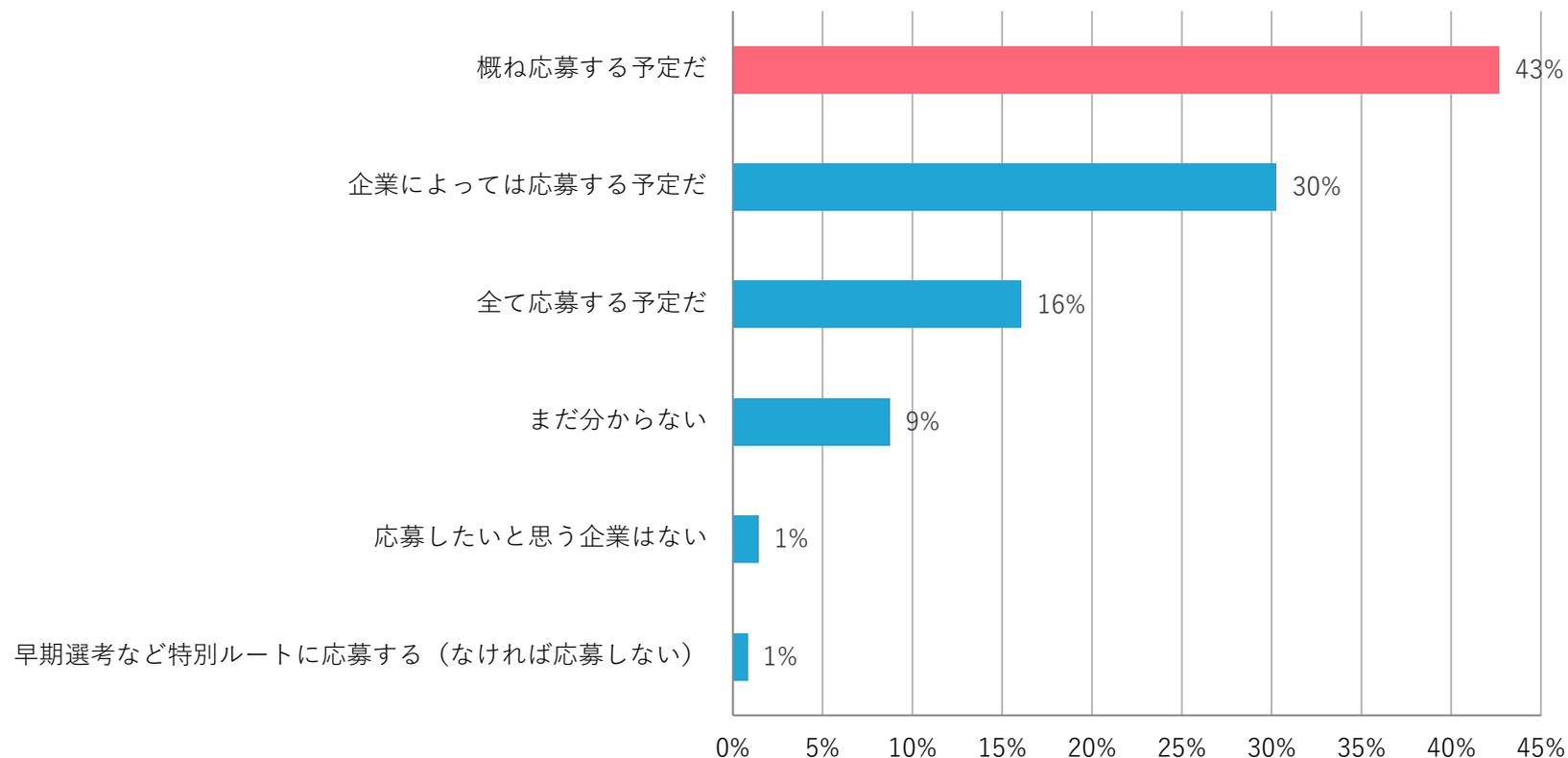
Q25. 2021年6月～9月のインターンシップ参加後、
企業からどのようなアクションがありましたか。 ※複数選択可

「別インターンシップの案内」55%や「早期選考の招待」31%と、企業側の囲い込みが上位を占める結果となった。



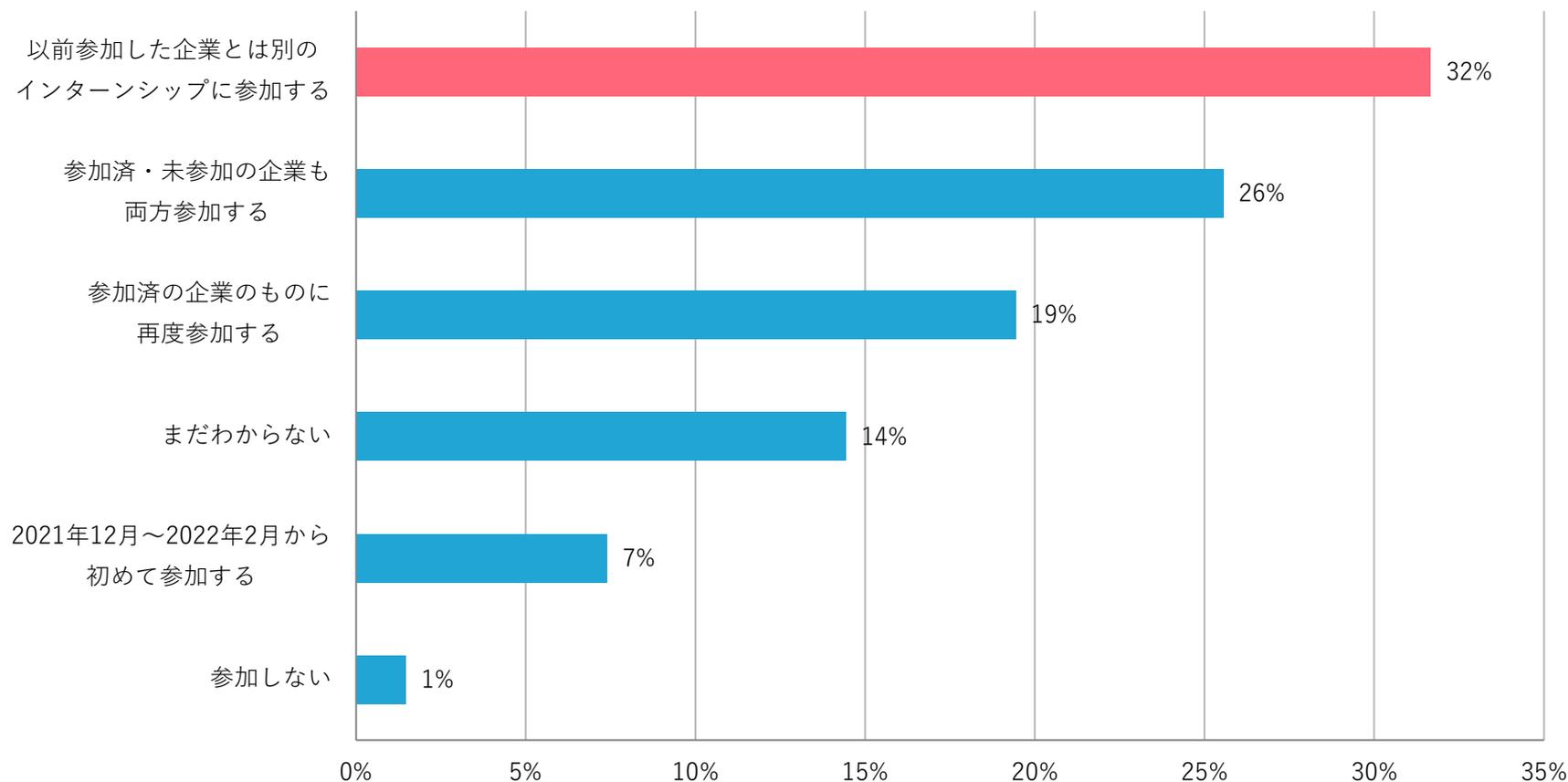
Q26. 2021年6月～9月の間でインターンシップに参加した企業の選考に応募する予定ですか。

「概ね応募する予定だ」が43%、「企業によって応募する予定だ」30%となり、早期インターンシップから選考に応募する意欲が高いことが窺える。



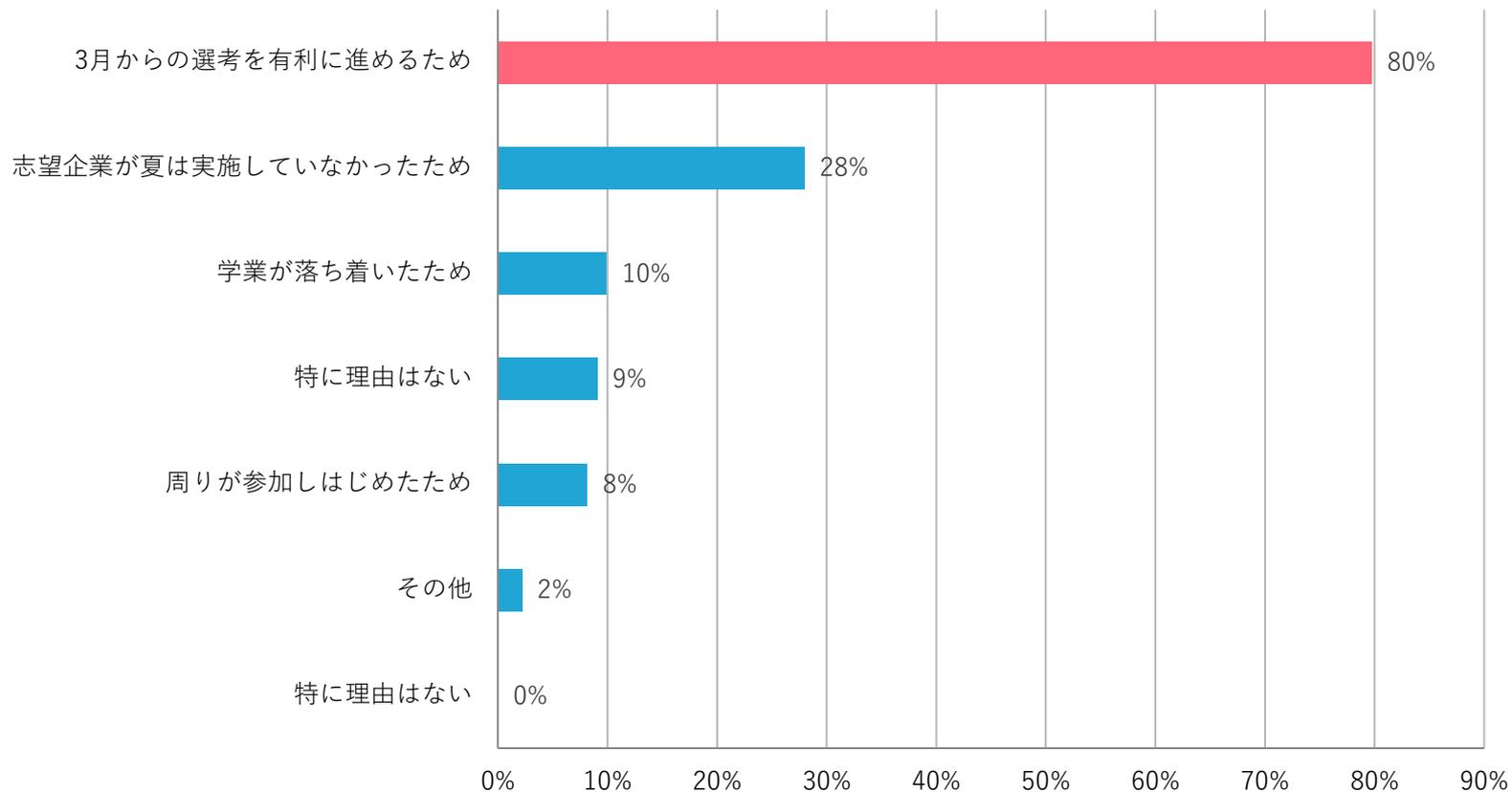
Q27. 2021年12月～2022年2月に実施される
インターンシップに参加する予定ですか。

「以前参加した企業とは別の企業のインターンシップに参加する」32%、「参加済・未参加の企業も両方参加する」26%と、過半数の学生が冬以降も継続して未接触企業のインターンシップに参加する意思があると分かった。



Q28. なぜ2021年12月～2022年2月のインターンシップに参加するのか教えてください。※複数選択可

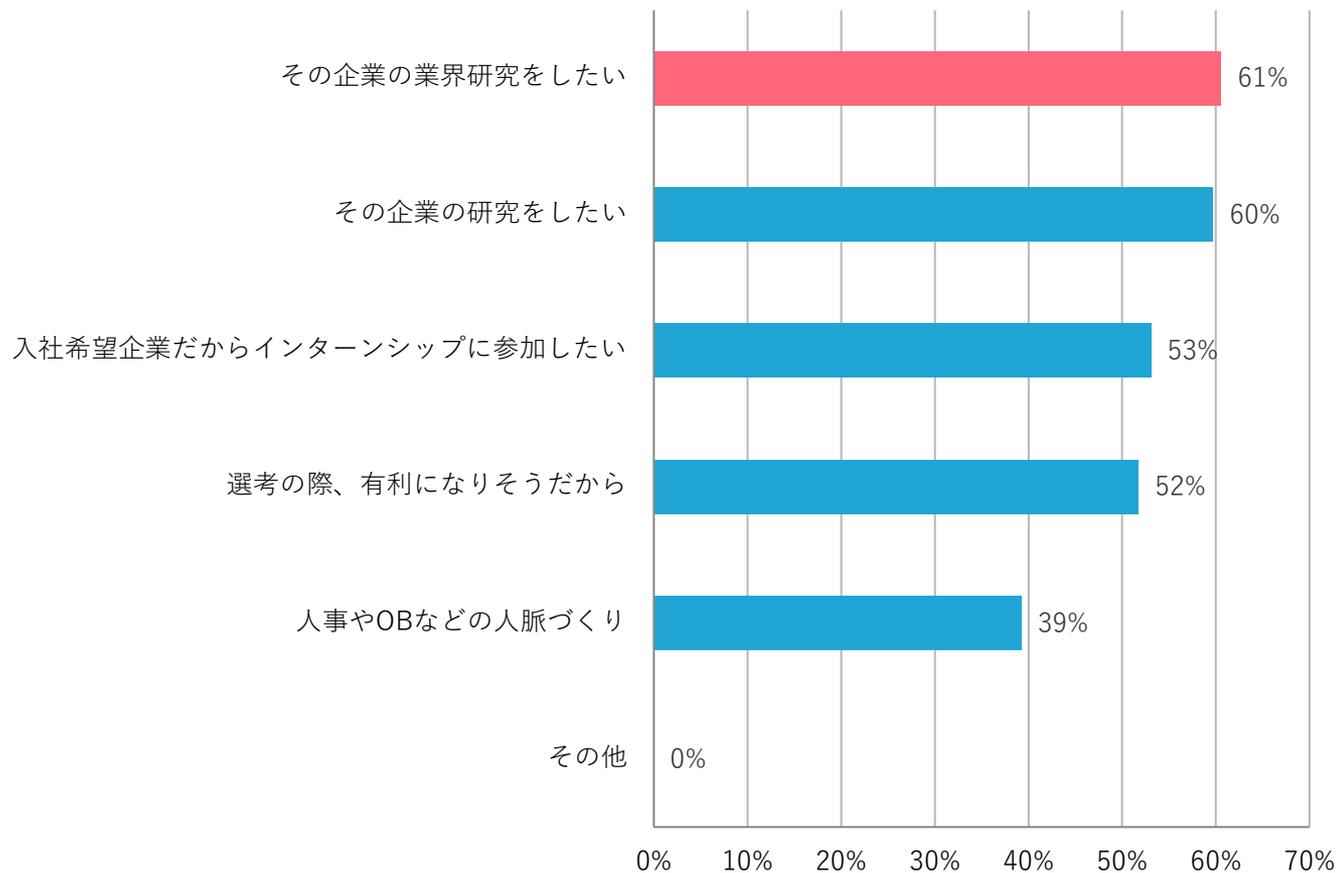
「3月からの選考を有利に進めるため」が80%と、学生たちが選考をかなり意識した動きを取ろうとしていることが窺える。



Q29. 2021年12月～2022年2月のインターンシップに参加するの目的は何ですか。

※複数選択可

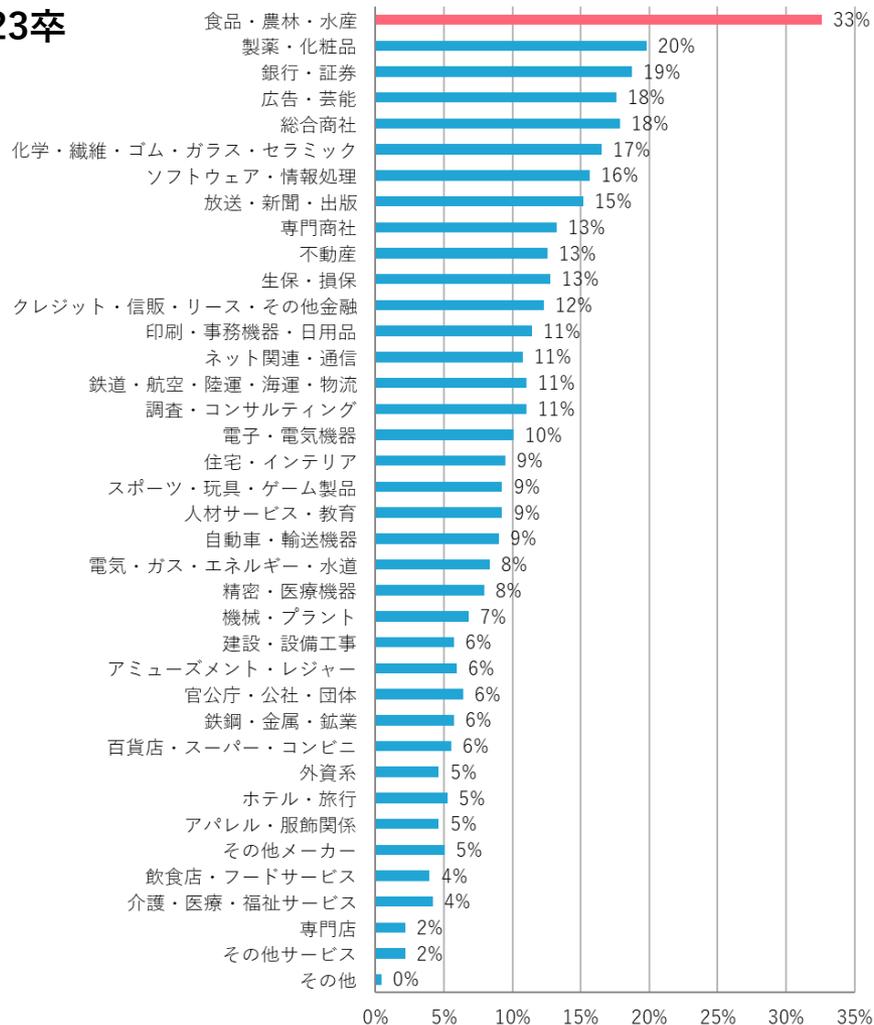
「その企業の業界研究をしたい」61%、「その企業の研究をしたい」60%と、まだまだ冬の時期においても業界研究・企業研究に対する意欲が旺盛である。



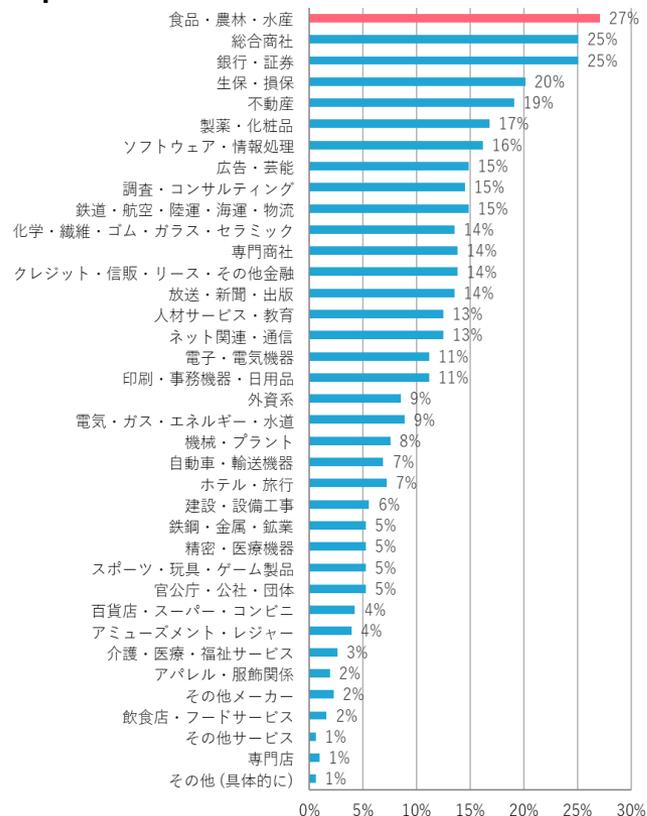
Q30. 2021年12月～2022年2月の間で参加予定のインターンシップについて
企業の業種を教えてください。※複数選択可

「食品・農林・水産」が33%（昨年比6pt増）で人気が集中している。業績が安定している「製薬・化粧品」20%、「銀行・証券」19%も堅調に推移している。

23卒

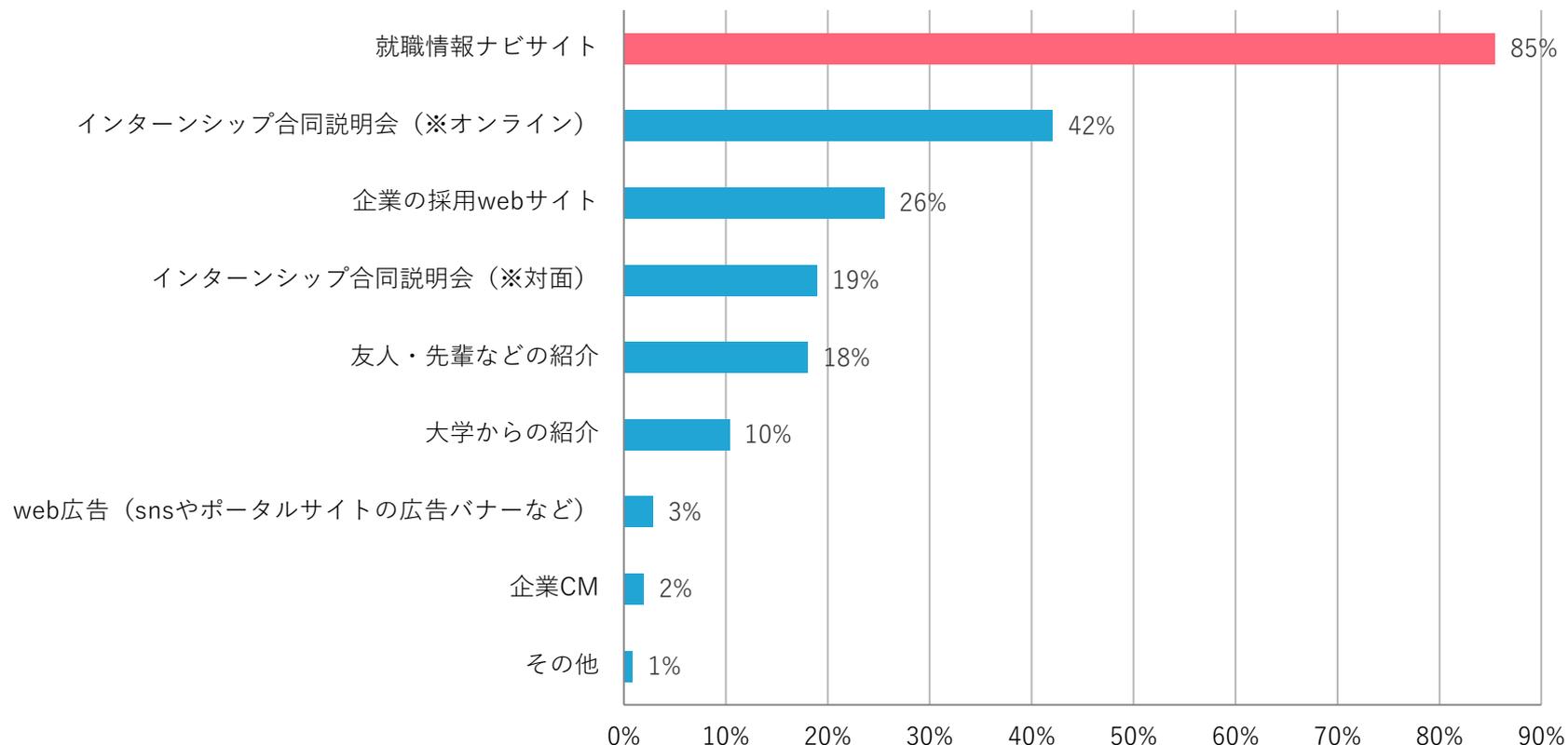


22卒



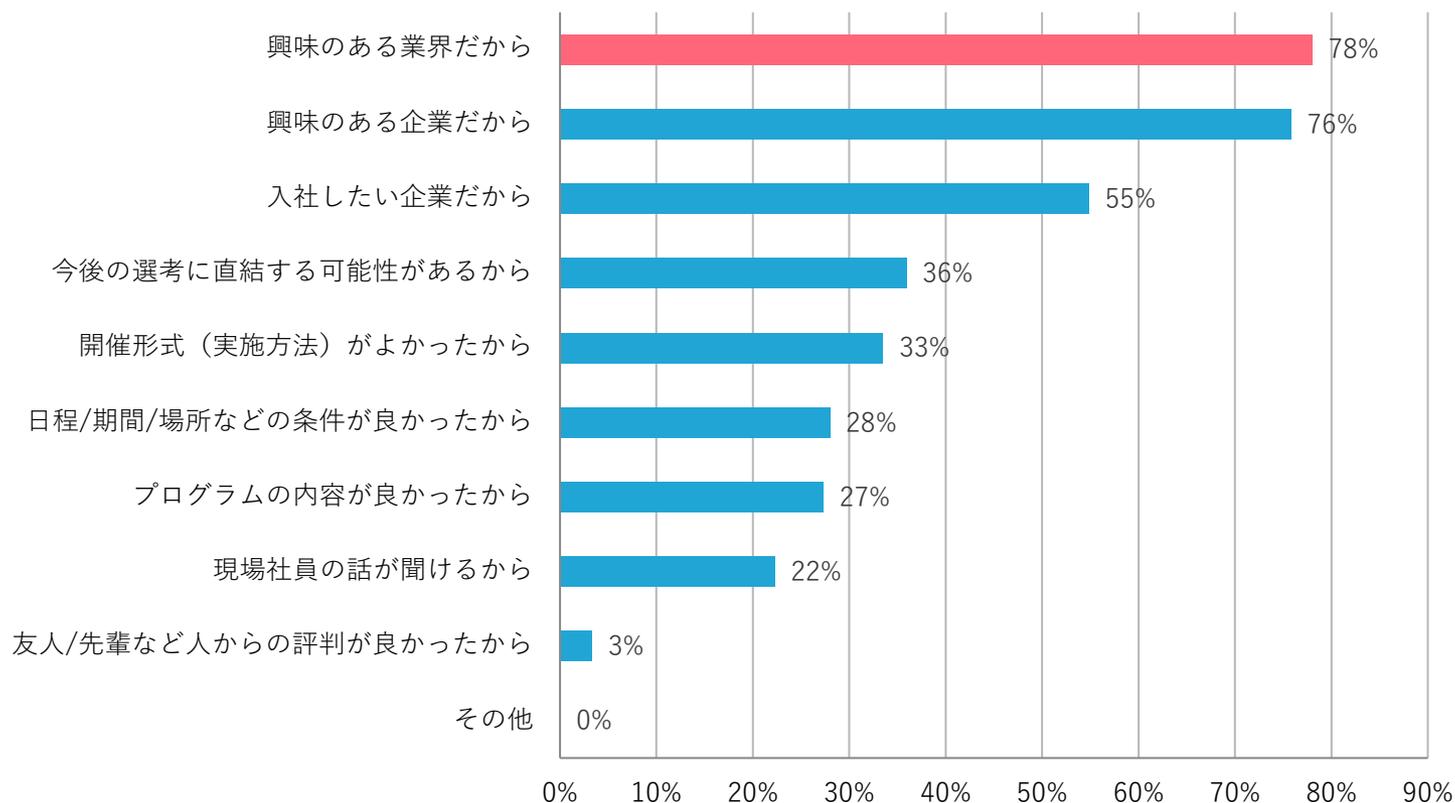
Q31. 2021年12月～2022年2月の間で参加予定のインターンシップについて
どのように企業を見つける予定ですか。 ※複数選択可

「就職情報ナビサイト」が85%と依然高い割合を占める一方、「オンライン型インターンシップ合同説明会」も42%と比較的高い。全体的に学生は今後もオンライン中心の情報収集を行なおうとしていることが分かる。



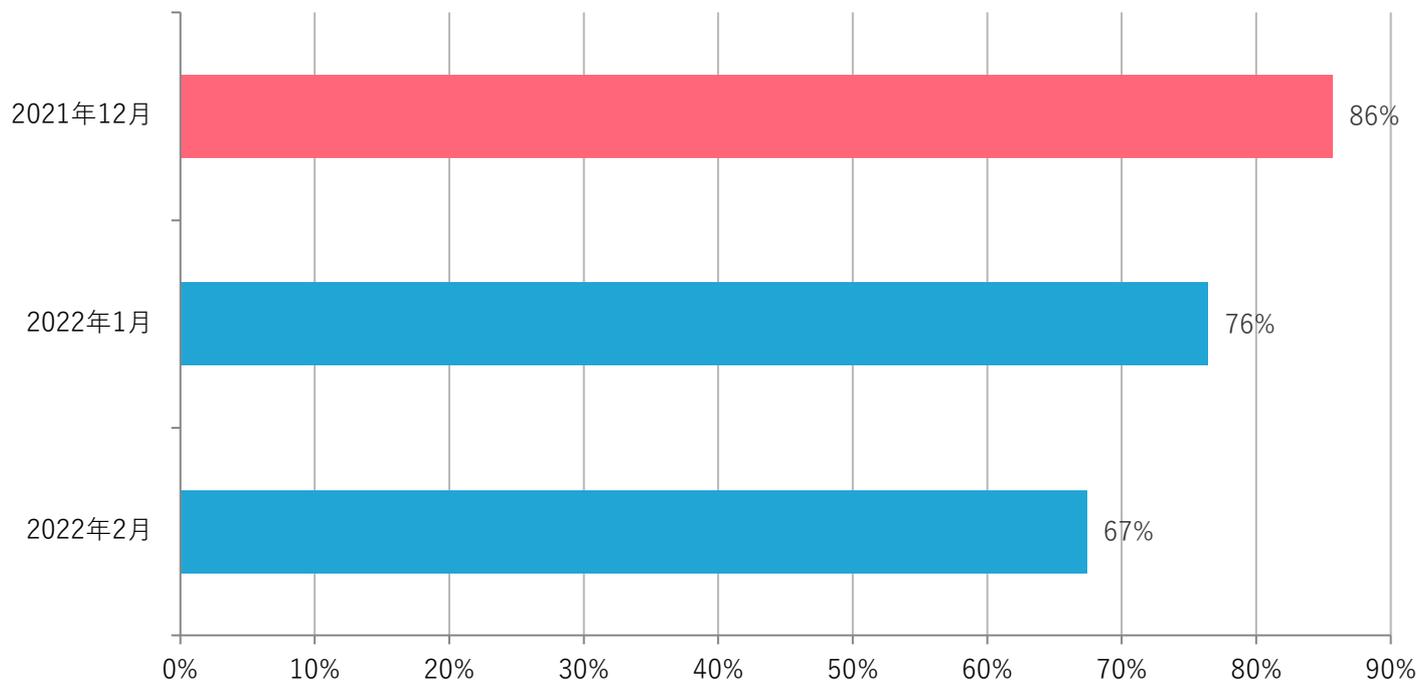
Q32. 2021年12月～2022年2月の間で参加予定のインターンシップについて
選ぶ基準を教えてください。※複数選択可

「興味のある業界だから」78%、「興味のある企業だから」76%と、業界・企業に対する興味が軸である割合は依然として多い。



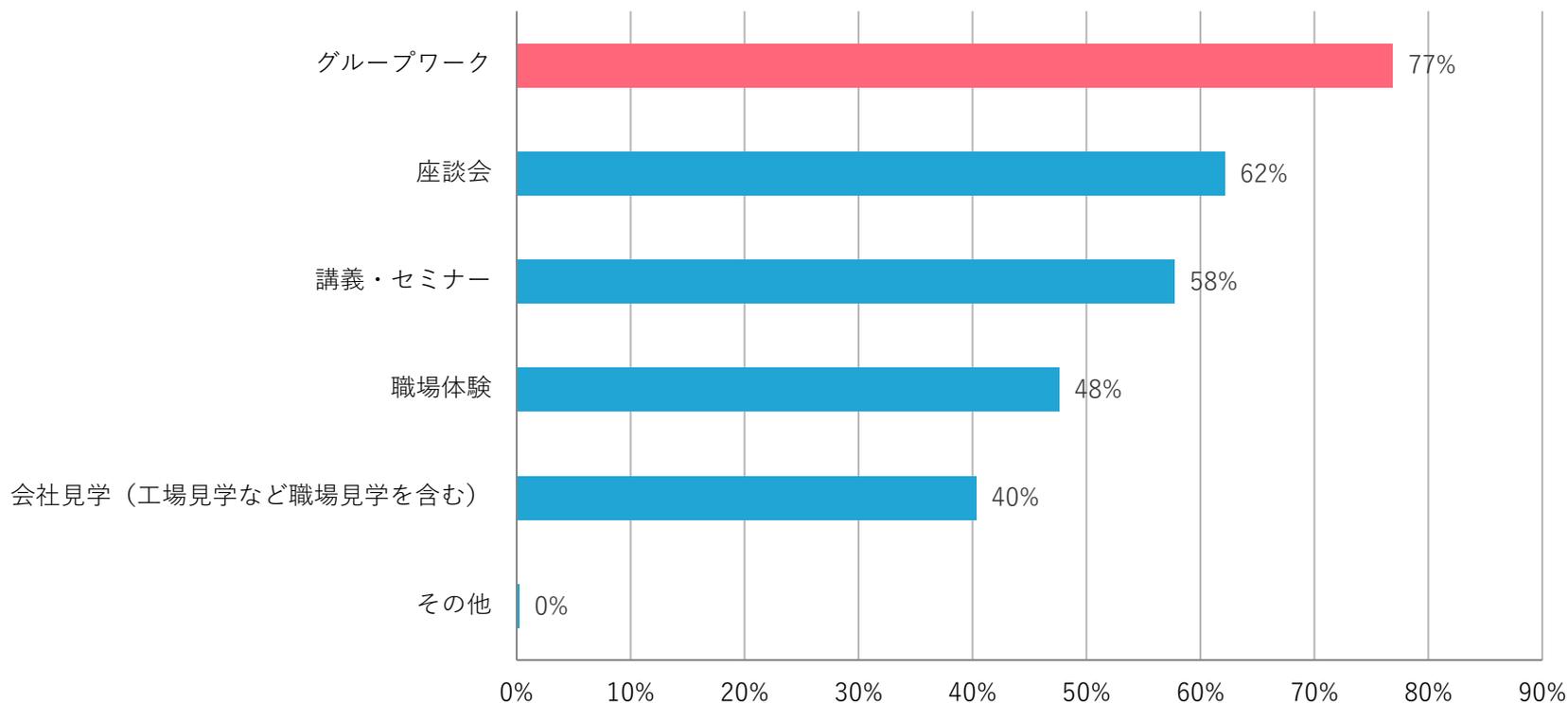
Q33. 2021年12月～2022年2月の間で、希望するインターンシップの開催時期を教えてください。※複数選択可

「2021年12月」が86%と最多であり、一方で広報解禁直前の「2022年2月」は比較的低い67%に落ち着く結果となった。



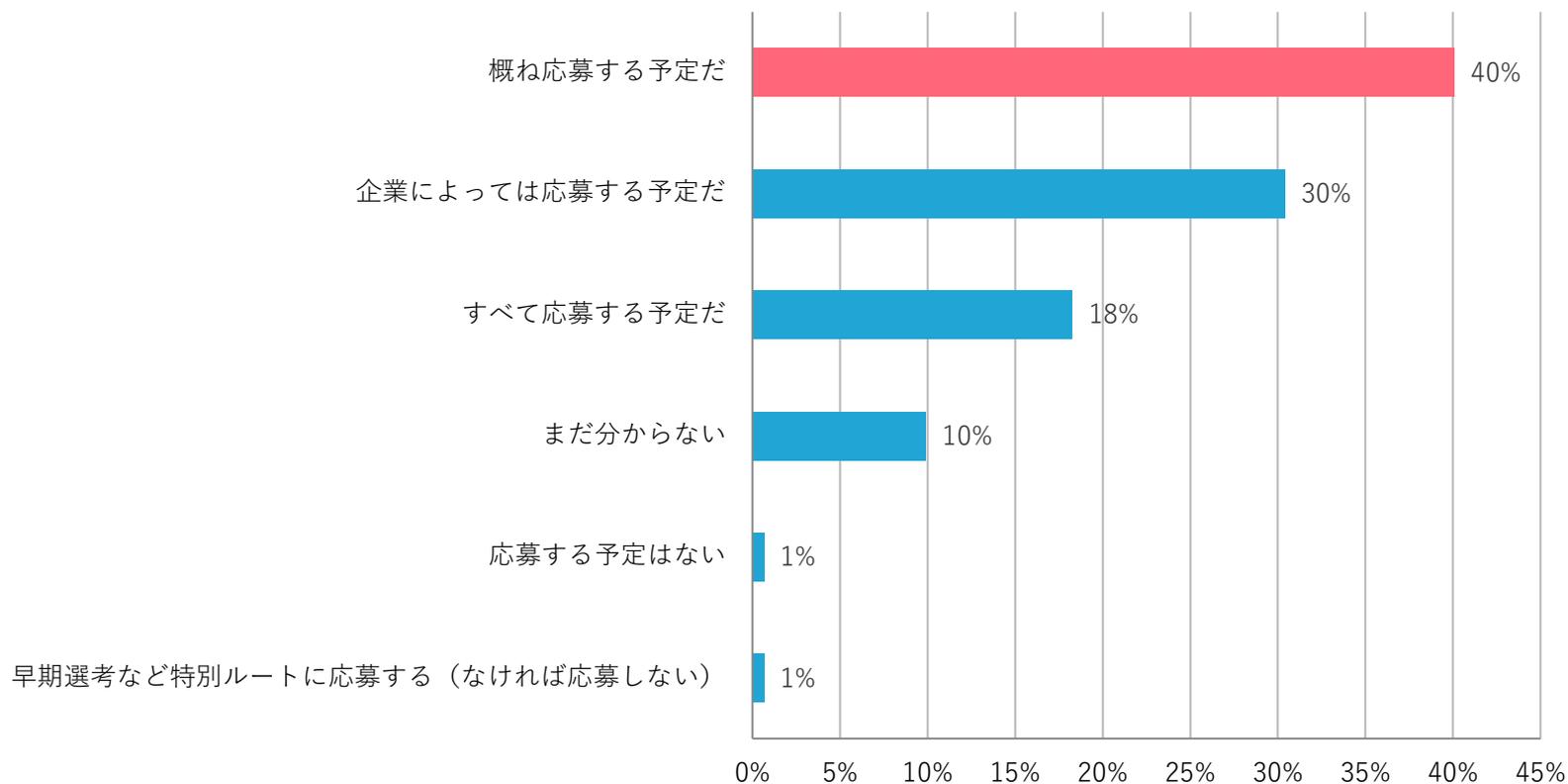
Q34. 2021年12月～2022年2月の間に開催されるインターンシップについて、希望する内容を教えてください。※複数選択可

「グループワーク」が77%と依然人気が高い結果となった。「職場体験」48%も比較的支持する声は多いが、「座談会」62%や「講義・セミナー」58%を希望する割合の方が高いことが分かった。



Q35. 2021年12月～2022年2月の間で実施予定のインターンシップに参加後、参加した会社の選考に進む予定ですか。

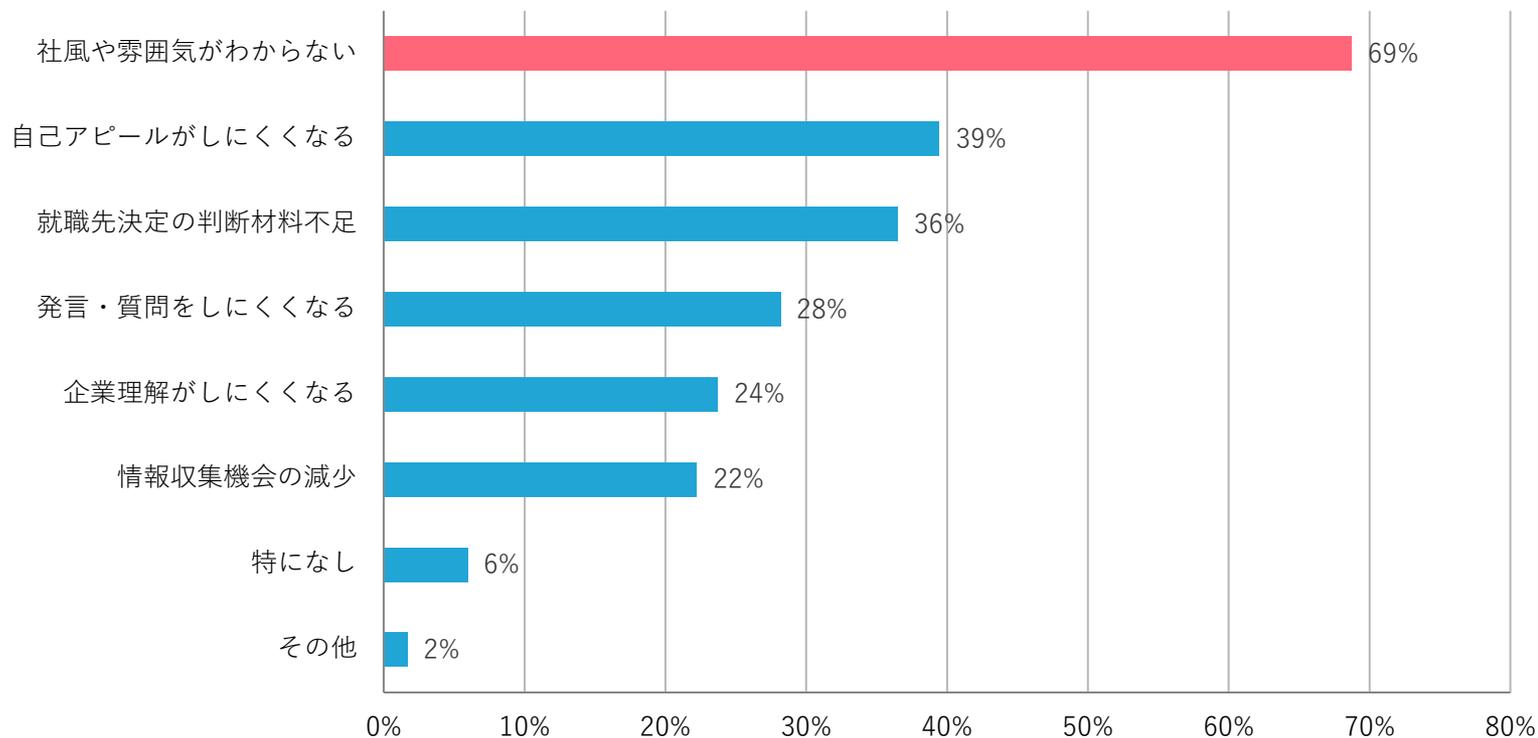
「概ね応募する予定だ」40%、「企業によっては応募する予定だ」30%と、7割の学生が冬インターンシップ参加企業に対して選考に進むことを意識していることが分かった。



Q36. 就職活動がオンライン化することにより、懸念していることは何ですか。

※複数選択可

「社風や雰囲気がわからない」が69%で最多の回答となった。続いて「自己アピールがしにくくなる」39%、「就職先決定の判断材料不足」36%と、就職活動のオンライン化に抵抗が少ない世代とはいえ、就職先を選ぶには情報が物足りないと感じている学生は多いのかもしれない。



夏の早期から学生側の活動意欲は旺盛。

オンラインが主流となり活動盛んな一方でインターンシップ形骸化の進行に不安あり。

1_2021年6月から9月末までの間に91%の学生がインターンシップに参加したと回答。「インターンシップの参加目的」に関しては、新設した項目の「インターンシップが就活のスタートだと思うから」が69%と最多。次いで「その企業の業界研究をしたいから」62%（昨年比23pt減）、「その企業の研究をしたいから」47%（昨年比20pt減）と続く。例年と同様に早期から学生たちの活動意欲が高いものの、目的意識を欠いたまま活動を行っている学生が一定数いると考えられる。

2_「有意義だったインターンシップ」について「オンライン」が83%（昨年比8pt増）という結果に。インターンシップがオンラインであることへの学生の心理的な抵抗が弱まっていることが考えられる一方で、多くの企業がオンラインインターンシップ開催2年目を迎えたことで昨年のプログラムから質的に改善されていることも一因と考えられる。

3_インターンシップに参加して「なぜ就職志望度が高まったのか？」では、「企業理解が深まったから」が76%で最多となった。次いで「人事や社員の対応が良かったから」の54%、「仕事内容が魅力的だったから」は52%（昨年比5pt減）、新設した「社風が自分に合っていると感じたから」が38%と続いた。また「インターンシップ参加後、知りたいことは何か？」については、「社員の雰囲気」が69%で最も多く、続いて「仕事の内容」で51%、「働き方や福利厚生」が44%となった。インターンシップ参加学生の志望度に影響するものとして、企業理解・仕事としての魅力はもちろん重要な要素だが、一方で人事や協力社員の対応やそこから感じ取れる社風など、企業風土や職場の雰囲気を重視している学生が多いと思われる。

4_12月～2月に実施されるインターンシップの参加予定について、「まだ参加したことのない企業のインターンシップに参加するつもりだ」が32%で最多の回答となった。続いて多かったのは「すでに参加経験のある企業も未参加の企業も両方参加するつもりだ」の26%、「すでに参加したことがある企業のインターンシップに再度参加するつもりだ」19%という結果となった。こうしたことから学生たちの傾向として、夏のタイミングで出会った企業のみならずに絞り込むという事は行わずにプレ期間を最大限活用して、広く浅い情報収集を継続して行なおうとしているといえる。